

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和5年度 要求額 (千円)	令和5年度 最終査定額 (千円)	頁
総務部	学務課	幼稚園管理運営事業(学務課)	11,555	11,555	1
総務部	学務課	特別支援学校管理運営事業(学務課)	236,614	227,267	3
総務部	学務課	小学校管理運営事業(学務課)	4,507	4,507	5
学校教育部	教育課程課	社会的実践力向上推進事業	82,405	78,628	7
学校教育部	教育課程課	教育活動支援事業	14,122	14,122	9
学校教育部	教育課程課	教育研究推進事業	14,060	14,060	11
学校教育部	教育課程課	堺版コミュニティ・スクール推進事業	1,745	1,745	13
学校教育部	教育課程課	夢をはぐくむ高校教育推進事業	10,463	10,463	15
学校教育部	教育課程課	豊かな心の育成事業	1,737	1,737	17
学校教育部	教育課程課	小中一貫教育充実事業	3,062	3,062	19
学校教育部 教育センター	教育課程課 能力開発課	幼児教育充実事業	11,422	11,422	21
学校教育部	支援教育課	特別支援教育環境整備事業	531,241	515,369	23
学校教育部	生徒指導課	子どもの安全安心対策事業	16,126	16,126	25
学校教育部	人権教育課	堺市教育コミュニティづくり推進事業	422	422	27
学校教育部	人権教育課	人権教育推進事業	4,344	4,344	29
学校教育部	人権教育課	人権学習推進事業	2,331	2,331	31
教育センター	企画相談課	教育支援教室	47,866	47,866	33
教育センター	企画相談課	教育相談事業	16,722	16,722	35
教育センター	能力開発課	科学教育推進事業	8,537	8,537	37
教育センター	能力開発課	教職員研修	72,058	72,058	39
教育センター	能力開発課	幼稚園管理運営事業(教育センター)	10,731	10,731	41
地域教育支援部	地域教育振興課	触松社会教育会館管理運営	3,556	3,556	43

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和5年度 要求額 (千円)	令和5年度 最終査定額 (千円)	頁
地域教育支援部	地域教育振興課	青少年センター図書室運営	11,463	11,463	45
地域教育支援部	地域教育振興課	小学校施設開放事業	17,242	17,242	47
地域教育支援部	地域教育振興課	中学校施設開放事業	7,690	7,690	49
地域教育支援部	地域教育振興課	地域学校協働活動推進事業	397	397	51
地域教育支援部	地域教育振興課	社会教育関係団体支援事業	8,505	8,505	53
地域教育支援部	美原こども館	美原こども館管理、美原こども館健全 育成	37,209	37,209	55
地域教育支援部	放課後子ども支援課	放課後子ども総合プラン事業	866,061	833,084	57
地域教育支援部	放課後子ども支援課	放課後児童対策事業(のびのびルー ム)	2,485,377	2,273,664	59
地域教育支援部	放課後子ども支援課	放課後ルーム事業	65,530	61,040	61

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	幼稚園管理運営事業 (学務課)			事業番号	038-011
担当部署名	教育委員会事務	局	総務	部	学務

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2
		寄与するKPI	有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携		
3	事業開始年度	有・無	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画					
3	事業開始年度	平成 5 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■みはら大地幼稚園に通園する園児 (103人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■みはら大地幼稚園に通園する園児の通園時の安全確保と負担軽減。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■送迎バス3台の運行とメンテナンス業務を、民間業者に委託して実施している。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■委託業者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	遠距離通園の通園手段の確保					
	当該目標を設定した理由	みはら大地幼稚園に通園する園児の通園時の安全確保と負担軽減のため。				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	送迎バスの運行により安全に通園できた園児数	人	目標値	133	119	89
		実績値	133	119		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由	みはら大地幼稚園に安全に通園するために、美原区域内で希望する全ての園児の送迎が必要のため。					
目標値の設定根拠・算出方法	バス通園を希望する園児数					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	幼稚園管理運営事業（学務課）	事業番号	038-011
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)															
	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
		決算		決算		決算		予算		予算要求							
事業費 (a)		12,579		12,675		12,675		14,013		11,555							
13	財 源 内 訳	国支出金															
		府支出金															
		市債															
		その他 ()															
		受益者負担金(使用料、手数料等)		4,110		3,146		3,625		3,327		2,447					
		一般財源		8,469		9,529		9,050		10,686		9,108					
事業費の内訳		(単位：千円)															
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源		主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	
		幼稚園車両管理業務		R4	予算	14,008	10,681			R4	予算						
				R5	予算	11,550	9,103			R5	予算						
		研修会等参加負担金		R4	予算	5	5			R4	予算						
				R5	予算	5	5			R5	予算						
				R4	予算					R4	予算						
				R5	予算					R5	予算						
				R4	予算					R4	予算						
				R5	予算					R5	予算						
				R4	予算					R4	予算						
				R5	予算					R5	予算						
				R4	予算					R4	予算						
R5	予算					R5	予算										
債務負担行為		(単位：千円)															
15	期間	R ~ R				要求額											

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">R4まで</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ H5 みはら大地幼稚園開園と同時に事業開始 ■ H28 バス利用者の保護者から負担金を徴収開始 </td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 </td> </tr> <tr> <td>R6以降</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 </td> </tr> </table>	R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ H5 みはら大地幼稚園開園と同時に事業開始 ■ H28 バス利用者の保護者から負担金を徴収開始 	R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 	R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施
R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ H5 みはら大地幼稚園開園と同時に事業開始 ■ H28 バス利用者の保護者から負担金を徴収開始 						
R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 						
R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">要求のポイント</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 引き続きバスの運行を行い、園児の安全な通園を支援する。 </td> </tr> </table>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引き続きバスの運行を行い、園児の安全な通園を支援する。
要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引き続きバスの運行を行い、園児の安全な通園を支援する。 		

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援学校管理運営事業 (学務課)			事業番号	038-012
担当部署名	教育委員会事務	局	総務	部	学務

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性			④特別支援教育の推進
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	— 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立支援学校に通学する児童生徒 (458人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■市立支援学校に通学する児童生徒の円滑な通学と通学途上の安全確保
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■百舌鳥支援学校及び上神谷支援学校の送迎バスを運転手及び添乗員付きで借上げを行う ■百舌鳥支援学校分校については、重度重複障害のある児童生徒の状況を考慮し、送迎タクシーの借上げを行う
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■委託業者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	市立支援学校に通学する児童生徒の円滑な通学と通学途上の安全確保					
	当該目標を設定した理由	市内の広範囲から支援学校に通う障害のある児童生徒が、安全に通学するとともに、保護者の負担軽減を図るため。				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	送迎バス、タクシーの運行により安全に通学できた児童生徒数	人	目標値	363	389	458
		実績値	363	389		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由	市立支援学校への通学に送迎バス、タクシーを要する全ての児童生徒に、安全な通学手段の確保が必要のため。					
目標値の設定根拠・算出方法	送迎を希望する支援学校在籍児童生徒					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学務課）	事業番号	038-012
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)												
	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		決算		決算		決算		予算		予算要求				
事業費 (a)		157,354		168,374		185,034		197,366		236,614				
13	財源内訳			3,493		6,614								
	国支出金			3,493		6,614								
	府支出金													
	市債													
	その他 ()													
	受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		157,354		164,881		178,420		197,366		236,614				
事業費の内訳		(単位：千円)												
	主な項目	年度		事業費		うち一般財源		主な項目	年度		事業費		うち一般財源	
		R4	予算	197,366	197,366	R4	予算							
14	自動車借上料	R4	予算	197,366	197,366				R4	予算				
		R5	予算	236,614	236,614				R5	予算				
		R4	予算						R4	予算				
		R5	予算						R5	予算				
		R4	予算						R4	予算				
		R5	予算						R5	予算				
		R4	予算						R4	予算				
		R5	予算						R5	予算				
		R4	予算						R4	予算				
		R5	予算						R5	予算				
	債務負担行為		(単位：千円)											
	15	期間	R ~ R				要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">R4まで</td> <td>■ R3児童生徒数増に対応するための増便</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>■ 児童生徒数増に対応するための増便</td> </tr> <tr> <td>R6以降</td> <td>■ 支援学校在籍者数を考慮しながら、事業を実施</td> </tr> </table>	R4まで	■ R3児童生徒数増に対応するための増便	R5	■ 児童生徒数増に対応するための増便	R6以降	■ 支援学校在籍者数を考慮しながら、事業を実施
R4まで	■ R3児童生徒数増に対応するための増便						
R5	■ 児童生徒数増に対応するための増便						
R6以降	■ 支援学校在籍者数を考慮しながら、事業を実施						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 百舌鳥支援学校及び上神谷支援学校では現行契約に基づきバス送迎を行い、百舌鳥支援学校分校ではタクシーで送迎を行い、安全な通学を支援する。
----	--

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	小学校管理運営事業（学務課）	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務 局 総務 部	事業番号	038-013
			学務 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		寄与するKPI	有・無	取組の方向性	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	有・無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画						
3	事業開始年度	平成 14 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	児童生徒 (223人)					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	児童生徒の通学の安全を確保する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	小規模再編事業を行った2校で、月～金曜日までの開校日（長期休業日を除く）の登校時及び下校時に、児童の通学状況及び通学路周辺の安全を確保するため、安全指導員を配置。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	シルバー人材センター					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標							
	児童生徒の通学の安全確保							
	当該目標を設定した理由	小規模再編に伴い通学の安全確保を要する箇所があるため。						
	目標に対する実績							
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度			
	安全指導員の配置により安全を確保した児童数	人	目標値	249	223	223		
		実績値	249	223	223			
		達成率	100%	100%	100%			
当該指標を選定した理由	小規模再編に伴う通学の安全確保を要する箇所が通学路となっている児童数。							
目標値の設定根拠・算出方法	配置箇所が通学路となる児童数							

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	小学校管理運営事業（学務課）	事業番号	038-013
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)							
	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
		決算	決算	決算	予算	予算要求			
	事業費 (a)	3,980	3,764	3,598	4,319	4,507			
13	財源内訳								
	国支出金								
	府支出金								
	市債								
	その他 ()								
	受益者負担金(使用料、手数料等)								
	一般財源	3,980	3,764	3,598	4,319	4,507			
事業費の内訳		(単位：千円)							
	主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費		
			事業費	うち一般財源			事業費	うち一般財源	
14	事業費内訳	新湊小に係る通学路安全指導業務 (枠)	R4	予算 3,427	3,427		R4	予算	
			R5	予算 3,558	3,558		R5	予算	
	はるみ小に係る通学路安全指導業務 (枠)	R4	予算 892	892		R4	予算		
		R5	予算 949	949		R5	予算		
		R4	予算			R4	予算		
		R5	予算			R5	予算		
		R4	予算			R4	予算		
		R5	予算			R5	予算		
		R4	予算			R4	予算		
		R5	予算			R5	予算		
	債務負担行為		(単位：千円)						
	15	期間	R ~ R		要求額				

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">R4まで</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ H14 子ども緊急通報装置設置 ■ H29 外灯防犯カメラに更新 ■ H19 新湊小・はるみ小通学路安全指導員配置 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R5</td> <td>通学路安全指導員配置を継続実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R6以降</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 ■ 定期的に外灯防犯カメラの点検を実施 </td> </tr> </table>	R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ H14 子ども緊急通報装置設置 ■ H29 外灯防犯カメラに更新 ■ H19 新湊小・はるみ小通学路安全指導員配置 	R5	通学路安全指導員配置を継続実施	R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 ■ 定期的に外灯防犯カメラの点検を実施
R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ H14 子ども緊急通報装置設置 ■ H29 外灯防犯カメラに更新 ■ H19 新湊小・はるみ小通学路安全指導員配置 						
R5	通学路安全指導員配置を継続実施						
R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 ■ 定期的に外灯防犯カメラの点検を実施 						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">要求のポイント</td> <td>小規模再編事業に基づき安全指導員の配置を行い、通学の安全を確保する。</td> </tr> </table>	要求のポイント	小規模再編事業に基づき安全指導員の配置を行い、通学の安全を確保する。
要求のポイント	小規模再編事業に基づき安全指導員の配置を行い、通学の安全を確保する。		

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	社会的実践力向上推進事業	事業番号	038-035
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育
		部	教育課程
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		有	取組の方向性	①郷土・堺の歴史を学び、発信できる力の育成				
		有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.1
		有	取組	総合的な学力の育成				
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—		目標値	—	

事業の概要

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 30 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法第2条、第5条 学校教育法第21条 学習指導要領		
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立小中学校の児童生徒 約62,900人		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺の歴史・文化・環境・防災・情操教育等をととして、子どもたちの社会的実践力を育む。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ <子ども堺学> ○子ども堺学推進校の指定による研究発信 (小学校2校、中学校1校) ○キャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育教員研修の実施 ・エキスパート派遣 (キャリア教育の講師等を派遣) ・堺ゆめ授業「ようこそ堺の先輩」 (各校が招聘したキャリア教育講師による授業に対し、講師謝礼金を支払う) ・トップアスリート派遣 (スポーツ分野における専門的知識・技能を有する人材を講師・指導者として派遣) ・「キャリアマップ」の活用 (中学校1年生に配布し、自分のキャリアプランニングに活用) ■環境・防災教育 <ul style="list-style-type: none"> ○防災教育 <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育研修 (「防災教育指導のてびき」を活用した防災教育カリキュラム研修等を実施) 		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺スクール・サポーター		
10	公民連携・協働事業	-		

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標		目標 点検年度	
			令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和7年度		
11	「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはある」と答えた児童・生徒数	%	48	49	48	45	50	52		
	当該指標を選定した理由	子ども堺学、キャリア教育等、小学校・中学校の教育課程において育成される社会参画力を図る指標となるため。								
	目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度まで「堺市『子どもがのびる』学びの診断児童生徒質問紙調査 (小学校6年・中学校2年平均値)」 令和3年度以降「全国学力状況調査児童生徒質問紙調査 (小学校6年・中学校3年平均値)」								
12	活動指標(成果を上げるための手段)	%	73	74	73	75	75			
	「文化人・芸術家・堺ゆかりの著名人など『本物』に触れる機会を設けている」と答えた小中学校数		75	実施せず	75	75				
	当該指標を選定した理由	子ども堺学、キャリア教育等、小学校・中学校の教育課程において育成される社会参画力を図る指標となるため。								
	目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度まで「堺市『子どもがのびる』学びの診断児童生徒質問紙調査 (小学校6年・中学校2年平均値)」 令和3年度以降「全国学力状況調査児童生徒質問紙調査 (小学校6年・中学校3年平均値)」 次年度以降は別の調査項目にて算出する								

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	社会的実践力向上推進事業	事業番号	038-035
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
項目	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13	事業費 (a)	105,669	106,558	88,415	82,527	82,405
	財源内訳					
	国支出金	14,753	36,199	11,540	17,520	17,466
	府支出金					
	市債					
	その他 (ゆめ基金・寄附金)	28,697	14,372		18,600	18,600
受益者負担金(使用料、手数料等)						
一般財源	62,219	55,987	76,875	46,407	46,339	

事業費の内訳		(単位：千円)											
項目	主な項目	年度		事業費		うち一般財源	主な項目	年度		事業費		うち一般財源	
		R	予	算	費			R	予	算	費		
14	事業費内訳	堺・スクールサポーター等謝礼金	R4	予	算	53,611	35,291	堺っ子書道展等消耗品費	R4	予	算	521	521
			R5	予	算	53,475	36,009		R5	予	算	531	531
	堺・スクールサポーター等保険料等	R4	予	算	860	860	会計年度任用職員報酬	R4	予	算	2,088	2,088	
		R5	予	算	860	860		R5	予	算	2,144	2,144	
	社会科副読本等印刷製本費	R4	予	算	4,678	4,678	会計年度任用職員通勤費等	R4	予	算	214	214	
		R5	予	算	4,600	4,600		R5	予	算	214	214	
	社会科副読本編集等委託料	R4	予	算	19,706	1,906	会計年度任用職員期末手当	R4	予	算	253	253	
		R5	予	算	19,730	1,130		R5	予	算	242	242	
	堺っ子書道展等会場等借上料	R4	予	算	596	596	世界遺産学習連絡協議会会費	R4	予	算	0	0	
		R5	予	算	579	579		R5	予	算	30	30	

債務負担行為		(単位：千円)		
項目	期間	R	～	R
15	期間			要求額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">R4まで</td> <td>市教委が作成・配布したモデルカリキュラムや学習プログラムを各校において活用 キャリアパスポートの作成や新型コロナサポーターの活用など、子ども堺学やキャリア教育の充実</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R5</td> <td>社会的実践力の向上を図るため、各取組を継続的に実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R6以降</td> <td>社会的実践力の向上を図るため、令和5年度までの取組を継続して実施</td> </tr> </table>	R4まで	市教委が作成・配布したモデルカリキュラムや学習プログラムを各校において活用 キャリアパスポートの作成や新型コロナサポーターの活用など、子ども堺学やキャリア教育の充実	R5	社会的実践力の向上を図るため、各取組を継続的に実施	R6以降	社会的実践力の向上を図るため、令和5年度までの取組を継続して実施
R4まで	市教委が作成・配布したモデルカリキュラムや学習プログラムを各校において活用 キャリアパスポートの作成や新型コロナサポーターの活用など、子ども堺学やキャリア教育の充実						
R5	社会的実践力の向上を図るため、各取組を継続的に実施						
R6以降	社会的実践力の向上を図るため、令和5年度までの取組を継続して実施						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <p>学校においては、学習面での支援の必要な児童が増えていることや、コロナ禍における教員の負担増加などにより、スクールサポーターによる支援がこれまで以上に求められる。授業や学校活動におけるきめ細やかな指導を充実し、教育の質の向上を図るため、スクールサポーターの派遣を継続する。</p> <p>本事業を通して、各校の地域の特性に応じた特色ある教育や発達段階に応じたキャリア教育を推進することで、社会的・職業的自立にむけた基盤となる能力を育成し、人格の完成を目指す豊かな情操や感性を育てていくため、事業を継続する。</p>
----	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	教育活動支援事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	事業番号	038-037
	局	学校教育	部
		教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
			有	取組の方向性	③健やかな心身の育成			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.1
			有	取組	総合的な学力の育成			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2 関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3 事業開始年度	— 年度	点検年度	令和 7 年度
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立学校園の幼児児童生徒 (6.5万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもを取り巻く生活環境や社会環境の変化に伴い、生きることの大切さや自己の豊かな生き方を描くことが難しくなっているなか、各学校行事における目標達成をめざして互いに団結力を高め、良好な集団づくりを通して、子どもの自尊感情や規範意識を醸成し、豊かな心を育成するための学校教育活動を支援することを目的とする。 ■ 小・中学校連合音楽会は、伝統的な行事であり、堺市立の全小学校、全中学校が参加している。平素の音楽活動で身に付けた表現力を発表するとともに、音楽を鑑賞することを通して、児童の音楽性、表現力、感性を培い、豊かな情操を養うこと、また連合音楽会に参加することで、全市児童、生徒が校区を超えてお互いの親睦を図るとともに、音楽鑑賞時のマナーを学ぶことを目的とする。 ■ 小学校連合運動会 堺市の6年生が一堂に会し、平素学習した技を競い、あるいは演技を共に行い、お互いの親睦を図るとともに、競技・演技を通して、自尊感情を培い、良き観衆としてのマナーを身につけることを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小・中学校連合音楽会、小学校連合運動会の開催⇒令和2～4年度は中止（令和4年度中学校連合音楽会は実施） ・児童生徒が参加する全市的な音楽会、運動会を開催する。 ■ 学校園行事に対する支援 ・学校園で様々な教育活動を通じて、情操、想像力、社会性を養う。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市初等教育研究会、堺市立中学校教育研究会、堺市立小学校体育連合会
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	点検年度 令和7年度
11	連合運動会の開催	校	目標値 中止	実績値 中止	目標 92	実績見込み 中止	目標 92	実績値 中止
	当該指標を選定した理由	児童生徒に対して校区を越えた学習発表の場を提供することが、全市的な教育活動の充実につながるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	全小学校数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	校	目標値 中止	実績値 中止	目標 92	実績見込み 中止	目標 92	実績値 中止
	当該指標を選定した理由	児童生徒に対して校区を越えた学習発表の場を提供することが、全市的な教育活動の充実につながるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	全小学校数						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	教育活動支援事業	事業番号	038-037
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)									
	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
		決算	決算	決算	予算	予算要求					
	事業費 (a)	6,696	6,116	26,383	9,827	14,122					
13	財源内訳										
	国支出金										
	府支出金										
	市債										
	その他 (子ども教育ゆめ基金繰入金)	4,718			6,821	7,075					
	受益者負担金(使用料、手数料等)										
	一般財源	1,978	4,784	6,098	3,006	7,047					
事業費の内訳		(単位：千円)									
	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	
		R4	予算				R4	予算			
14	行事関係使用料	R4	予算	1,543	1,543	フィルム映写業務	R4	予算	110	110	
		R5	予算	1,550	1,550		R5	予算	110	110	
	教職員の出張にかかる使用料および燃料費	R4	予算	300	300	英語暗唱大会報償費	R4	予算	51	51	
		R5	予算	4,340	4,340		R5	予算	51	51	
	読書感想文コンクール等印刷製本費	R4	予算	747	747	読書感想文コンクール等消耗品費	R4	予算	45	45	
		R5	予算	741	741		R5	予算	45	45	
	堺市立学校修学旅行の延期等経費補助金	R4	予算	0	0	小学校連合音楽会開催業務	R4	予算	3,696	0	
		R5	予算	0	0	中学校連合音楽会開催業務	R5	予算	3,950	0	
体験学習保険料	R4	予算	210	210	小学校連合運動会開催業務	R4	予算	3,125	0		
	R5	予算	210	210		R5	予算	3,125	0		
債務負担行為		(単位：千円)									
15	期間	R ~ R				要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">R4まで</td> <td>各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。⇒令和2～4年度はコロナ禍のため中止（令和4年度中学校連合音楽会は実施）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R5</td> <td>各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R6以降</td> <td>各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。</td> </tr> </table>	R4まで	各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。⇒令和2～4年度はコロナ禍のため中止（令和4年度中学校連合音楽会は実施）	R5	各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。	R6以降	各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。
R4まで	各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。⇒令和2～4年度はコロナ禍のため中止（令和4年度中学校連合音楽会は実施）						
R5	各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。						
R6以降	各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">要求のポイント</td> <td>豊かな心の育成や総合的な学力の向上に向け、各学校行事等について支援する。</td> </tr> </table>	要求のポイント	豊かな心の育成や総合的な学力の向上に向け、各学校行事等について支援する。
要求のポイント	豊かな心の育成や総合的な学力の向上に向け、各学校行事等について支援する。		

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	教育研究推進事業			事業番号	038-038
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①信頼される教員の育成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1
		取組	総合的な学力の育成				
		指標名	—				
		現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン				
3	事業開始年度	平成 17 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法、教育公務員特例法				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立学校園の教職員 4,526人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、生徒指導、学校経営、学校事務等に対する広い視野を持ち、資質・能力の向上を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	今日の教育課題や教育活動・指導方法の改善に関する教職員の調査・研究や学校園をあげて組織的に取り組む研究に対して、負担金、報償費等を配当する。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	-
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	研修講師
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検年度 令和7年度
11 「教員は、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している」と答えた学校数	校	目標値	130	130	127	135
		実績値	95	94		
		達成率	73%	72%		
目標値の設定根拠・算出方法		新学習指導要領が示している3つの資質・能力「学びにむかう力・人間性等」「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の育成をしているか把握するため。 〔令和3年度以降〕全国学力・学習状況調査（肯定回答をした学校数）				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
12 「児童生徒の様々な考えを引き出した、思考を深めたりするような発問や指導をした」と答えた教員の割合	校	目標値	82	82	100	
		実績値	実施せず	未実施		
		達成率	-	-		
当該指標を選定した理由		教員の資質向上に向け組織的な研究や研修を行っているか把握するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		全国学力・学習状況調査（肯定回答をした学校数）				

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	教育研究推進事業	事業番号	038-038
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
			決算		決算		決算		予算	予算要求							
事業費 (a)			10,006		5,150		6,745		12,270		14,060						
国支出金							190		1,624		2,259						
府支出金																	
市債																	
その他 ()																	
受益者負担金(使用料、手数料等)																	
一般財源			10,006		5,150		6,555		10,646		11,801						
事業費の内訳										(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源		主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	
		教育活動研究推進事業等謝礼金		R4	予算	1,183	1,183	各研究指定校委託事業		R4	予算	1,624	0				
				R5	予算	1,183	1,183			R5	予算	1,624	0				
		教育活動研究推進事業等消耗品費		R4	予算	1,034	1,034	教育課程指定校等謝礼金		R4	予算	0	0				
				R5	予算	1,028	1,028			R5	予算	230	92				
		教育活動研究推進事業等手数料		R4	予算	4	4	教育課程指定校等旅費		R4	予算	0	0				
				R5	予算	4	4			R5	予算	549	184				
		教育活動研究推進事業等使用料		R4	予算	140	140	教育課程指定校等需用費		R4	予算	0	0				
				R5	予算	120	120			R5	予算	172	40				
		教育活動研究推進事業等負担金		R4	予算	8,285	8,285										
R5	予算			9,150	9,150												
債務負担行為										(単位：千円)							
15	期間		R ~ R				要求額										

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R4まで	<研修会参加・講師招聘研究会の実施> 教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、生徒指導、学校経営に対する広い視野を持ち、研修会に参加したり、講師を招聘して自校にて研修会を行ったりして、資質・能力の向上を図る。
R5	<研修会参加・講師招聘研究会のさらなる実施の充実> 教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、生徒指導、学校経営に対する広い視野を持ち、研修会に参加したり、講師を招聘して自校にて研修会を行ったりして、資質・能力の向上を図る。
R6以降	<研修会参加・講師招聘研究会のさらなる実施の充実> 教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、生徒指導、学校経営に対する広い視野を持ち、研修会に参加したり、講師を招聘して自校にて研修会を行ったりして、資質・能力の向上を図る。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	GIGAスクール構想の実現による新たなICT環境の活用、また令和の日本型教育の構築等により、授業改善に係る研究会や校内研修の充実が、今後よりいっそう求められると考えられる。また、新型コロナウイルス感染症への対応が落ち着きを見せており、今年度は参集型の研修が増加した。その一方で、オンライン開催の研修もあり、研修の幅が広がっている。そのような中、教育の質を保つためにも、一定の研究会参加負担金や校内研修の講師謝礼金が必要である。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺版コミュニティ・スクール推進事業	事業番号	038-039
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育
		部	教育課程
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進			
		無	指標名	-				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	目標値	-	
		寄与するKPI	有	取組	総合的な学力の育成			
		無	指標名	-				
		無	現状値	-		目標値	-	
2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 27 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法第13条						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立小学校92校 市立中学校43校
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域と学校が支え合い、コミュニティの拠点となりうる「堺版 コミュニティ・スクール」を全小中学校に構築するために、学校運営に地域住民や保護者の声を反映し、学校のマネジメント力を向上させるとともに、地域住民が学校の教育活動を多様な方法で支援する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者・地域住民等の参画による学校協議会の設置 学校経営方針を共有し、諸課題の解決に向けた協議や協働した取組など、保護者・地域住民等の学校経営への参画を図る『学校協議会』を設置する。 ■ 地域人材による学校支援体制の充実 学校経営方針に基づき、教育活動の推進や改善を図るため、保護者・地域住民等による学校を支援する活動や体制づくりを推進する。 ■ 堺版 コミュニティ・スクール推進のための説明会の開催 学校（管理職・教職員）や学校協議会（保護者・地域住民等）を対象にした研修を開催する。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	地域コミュニティ学校運営費
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度	
	全国学力・学習状況調査の質問紙項目「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域のひととの協働による活動を行いましたか。」の肯定回答	%	目標値	小82.0 中90.0	小82.0 中80.0	小80.0 中80.0	小90.0 中90.0
		実績値	小80.4 中62.8	小52.2 中48.9			
		達成率	小98 中69.7	小63.7 中61.1			
	当該指標を選定した理由	保護者・地域住民等による学校を支援する活動や体制づくりを推進することが重要であるため、本指標を設定					
	目標値の設定根拠・算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校においては府平均（60.5%）より下回っている状況があり、目標値を80%と設定 ■ 中学校においては府平均（48.5%）と同等であるが、より充実を図るため、終了年度の目標値を90%と設定 					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度		
	全国学力・学習状況調査の質問紙項目「保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか。」の肯定回答	%	目標値	小93.0 中98.0	小94.0 中95.0	小94.0 中85.0	
		実績値	小93.5 中90.7	小91.3 中76.8			
		達成率	小100.0 中92.6	小97.1 中80.8			
	当該指標を選定した理由	保護者・地域住民等との地域協働を推進することが重要であることから、本指標を設定した。					
	目標値の設定根拠・算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校においては府平均（92.1%）を下回ったもののさらなる充実をめざし、目標値を94%とする。 ■ 中学校においては昨年度よりも実績値が大幅に減少したものの、府平均（69.7%）を上回った。次年度は、より高い水準をめざし、目標値を95%とする。 					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	堺版コミュニティ・スクール推進事業	事業番号	038-039
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			決算		決算		決算		予算		予算要求	
事業費 (a)			1,671		1,054		818		1,623		1,745	
国支出金			641		350		272		541		581	
府支出金			295		175		136		259		252	
市債												
その他 ()												
受益者負担金(使用料、手数料等)												
一般財源			735		529		410		823		912	

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R4	予算				R4	予算		
コーディネーター謝礼金			R4	予算	1,018	509		R4	予算		
			R5	予算	995	502		R5	予算		
地域コミュニティ学校運営消耗品費			R4	予算	135	68		R4	予算		
			R5	予算	135	68		R5	予算		
地域コミュニティ学校運営食糧費			R4	予算	405	203		R4	予算		
			R5	予算	405	202		R5	予算		
コミュニティ・スクール周知リーフレット印刷製本費			R4	予算	0	0		R4	予算		
			R5	予算	170	113		R5	予算		
研修会場使用料			R4	予算	65	43		R4	予算		
			R5	予算	40	27		R5	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R4まで	学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築し、堺版コミュニティ・スクールを全小中学校で取り組む。
	R5	堺版コミュニティ・スクールに全小中学校で取り組み、令和6年度からの国の方針に基づくコミュニティ・スクールの導入にむけ、学校・家庭・地域へ理解をすすめる研修会を実施するとともに、地域教育振興課と連携し、制度設計を確立する。また、コミュニティ・スクールの周知に向け、リーフレットを作成、学校・地域等に配付する。
	R6以降	令和6年度から、国の方針に基づいたコミュニティ・スクールを全面实施。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実効的・機能的な学校協議会の運営に向けた環境整備の充実に資する予算を計上。 ■ 学校運営協議会の円滑な導入に向けた環境整備の充実に資する予算を計上。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	夢をはぐくむ高校教育推進事業			事業番号	038-042
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
		寄与するKPI	有・無	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	有・無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1
		寄与するKPI	有・無	取組	総合的な学力の育成		
3	事業開始年度	平成 20 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法、学校教育法、高等学校設置基準					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺高等学校への進学を希望する大阪府内の中学校3年生と堺高等学校在籍生徒及びその保護者					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	専門性の高い教育をととして生徒一人ひとりの個性と能力を引き出し、生徒の進路目標を実現するための教育を展開し、本市はもとより様々な分野や国際的に活躍する人材を育成するとともに、市民からの信頼に応え、地域と連携した教育を進める。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	各々の専門性の深化・充実や、大学等の高等教育につながる学力の向上などを進めるため、科学的な思考や創造力を高める教育、体験的で実効性をともなう教育、企業・大学など外部機関と連携した教育など、多様な教育を実践する。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者への委託と海外研修派遣生徒への補助					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	目標	点検年度
			令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和7年度	
			目標値	85	85		85	85	
	生徒対象の学校評価アンケートにおいて、「堺高校を選んでよかった」と回答した生徒の割合	%	実績値	80	85				
11	当該指標を選定した理由	教育内容の総合的な充実の度合いを測るため、アンケートで「堺高校を選んでよかった」と回答した生徒の割合を指標とした。							
		目標値の設定根拠・算出方法		<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度実績をもとに令和4年度以後の目標値を設定しなおした。 「堺高校を選んでよかった」と回答した生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。 					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		実績見込み		目標		
			令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			目標値	40	40		40		
	4年制大学及び短期大学への進学率	%	実績値	35	40				
12	当該指標を選定した理由	理数教育、英語教育の充実の度合いを測るため、大学進学率を指標とした。							
		目標値の設定根拠・算出方法		<ul style="list-style-type: none"> 大阪府の高校卒業後の大学短大進学率(約60%)に対して、堺高校は実業系専門学科を持つ高校であることを考慮し、目標値を設定した。 4年制大学及び短期大学への進学者数を卒業生数で割った割合を指標とした。 					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	夢をはぐくむ高校教育推進事業	事業番号	038-042
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

(単位：千円)														
事業コスト														
	項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		決算		決算		決算		予算		予算要求				
13	事業費 (a)	11,667		7,381		55,360		10,438		10,463				
	財源内訳			0		15,983		259		259				
	国支出金													
	府支出金													
	市債					31,900								
	その他 (子ども教育ゆめ基金繰入金)	500		0		0		700		700				
	受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源	11,167		7,381		7,477		9,479		9,504					
(単位：千円)														
事業費の内訳														
	主な項目	年度		事業費		うち一般財源		主な項目	年度		事業費		うち一般財源	
14	謝礼金	R4	予算	1,498	1,239	実習機器等備品購入費	R4	予算	945	945				
		R5	予算	1,498	1,239		R5	予算	945	945				
	海外交流関係 (補助金、旅費など)	R4	予算	1,323	623	会計年度任用職員関係 (報酬、職員手当など)	R4	予算	2,497	2,497				
		R5	予算	1,323	623		R5	予算	2,542	2,542				
	人材派遣委託料	R4	予算	1,917	1,917	消耗品費	R4	予算	470	470				
		R5	予算	1,917	1,917		R5	予算	470	470				
	高大連携業務委託料	R4	予算	360	360	印刷製本費	R4	予算	200	200				
		R5	予算	360	360		R5	予算	180	180				
	実習機器等修繕料	R4	予算	945	945	負担金	R4	予算	283	283				
		R5	予算	945	945		R5	予算	283	283				
	(単位：千円)													
	債務負担行為													
15	期間	R ~ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">R4まで</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の実施 ■高等学校卒業後の生徒の姿を見通し、大学や企業など社会との接続を意識した進路指導の充実 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の充実 ■生徒の学習意欲を高め、自己のキャリア形成の方向性と関連付けた専門教育の充実を図る </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R6以降</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の充実 ■魅力ある高等学校改革を行い、生徒一人ひとりの個性と能力を引き出し、それぞれの世界において活躍できる想像力豊かな人材の育成をめざす教育を推進するとともに、地域と連携した教育の充実を図る </td> </tr> </table>	R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の実施 ■高等学校卒業後の生徒の姿を見通し、大学や企業など社会との接続を意識した進路指導の充実 	R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の充実 ■生徒の学習意欲を高め、自己のキャリア形成の方向性と関連付けた専門教育の充実を図る 	R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の充実 ■魅力ある高等学校改革を行い、生徒一人ひとりの個性と能力を引き出し、それぞれの世界において活躍できる想像力豊かな人材の育成をめざす教育を推進するとともに、地域と連携した教育の充実を図る
R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の実施 ■高等学校卒業後の生徒の姿を見通し、大学や企業など社会との接続を意識した進路指導の充実 						
R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の充実 ■生徒の学習意欲を高め、自己のキャリア形成の方向性と関連付けた専門教育の充実を図る 						
R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の充実 ■魅力ある高等学校改革を行い、生徒一人ひとりの個性と能力を引き出し、それぞれの世界において活躍できる想像力豊かな人材の育成をめざす教育を推進するとともに、地域と連携した教育の充実を図る 						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">要求のポイント</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■地域に密接した大学・産業界等との連携した教育を推進 ■理数教育、国際理解教育、環境教育を充実させる。 ■各フェア参加により堺高校の魅力と進学に必要な情報を来場者に発信する。 ■ものづくり教育の充実に向け、老朽化した実習機器の更新やメンテナンスを行う。 </td> </tr> </table>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■地域に密接した大学・産業界等との連携した教育を推進 ■理数教育、国際理解教育、環境教育を充実させる。 ■各フェア参加により堺高校の魅力と進学に必要な情報を来場者に発信する。 ■ものづくり教育の充実に向け、老朽化した実習機器の更新やメンテナンスを行う。
要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■地域に密接した大学・産業界等との連携した教育を推進 ■理数教育、国際理解教育、環境教育を充実させる。 ■各フェア参加により堺高校の魅力と進学に必要な情報を来場者に発信する。 ■ものづくり教育の充実に向け、老朽化した実習機器の更新やメンテナンスを行う。 		

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	豊かな心の育成事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務 局 学校教育 部	事業番号	038-046
		教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	有	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進
		寄与するKPI	有・無	無	取組の方向性	①個性や違いを理解して自他とともに尊重できる心の育成	指標名	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2
		寄与するKPI	有・無	無	取組	睡眠教育・食育の推進	指標名	—
2 関連計画		堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3 事業開始年度		平成 27 年度		点検年度		令和 7 年度		
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		教育基本法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 堺市立全小中学校 ■ 指定校 2 小中学校 ※指定校は年度ごとに指定する。
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもの豊かな心の育成をめざし、小・中学校における道徳科の指導の充実を図るとともに、家庭・地域と連携した豊かな体験と道徳科を関連づけた道徳教育を推進する。 ■ 小中9年間を見通し、地域の実態や課題に応じた継続性のある道徳教育を実施することで、将来に夢をもち、郷土を愛する心を育む。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指定校においては、以下の内容に取り組む。 (1) 道徳教育及び「道徳科」の授業づくりや評価の充実に向けた研究及び実践 (2) 全市に向けた公開授業研究会の開催 (3) 地域人材を講師に招いたり、保護者とともに道徳教育に関する活動をしたりするなど、家庭・地域と連携した道徳教育の推進 (4) 各小中学校において本市独自の道徳教材集「未来をひらく」を活用し、道徳科授業の充実を図る
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	講師謝礼金
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標		目標 点検年度	
			令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度		
11	全国学力・学習状況調査質問紙調査において「自分にはよいところがある」と答えた児童生徒の割合	%	目標値	小86 中78	小87 中81	小88 中84	小90 中90			
			実績値	小78.5 中75.4	小82.9 中78.6					
			達成率	小91.2 中96.6	小95.2 中97.0					
当該指標を選定した理由		豊かな心の育成に向けては、「自尊感情の高揚」が求められているため。								
目標値の設定根拠・算出方法		<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和7年度90%に向けて段階的に目標値を達成するために、令和5年度の目標値を設定した。 ■ 「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。 								
12	活動指標(成果を上げるための手段) CBTによる堺市学習・生活状況調査において「学校のきまりを守っている」と答えた児童生徒の割合	%	実績		実績見込み		目標			
			令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
			目標値	小90 中90	小90 中90	小90 中90				
			実績値	小85 中94	小86 中94					
達成率		小94.4 中104.4	小95.5 中104.4							
当該指標を選定した理由		豊かな心の育成に向けては、「規範意識の醸成」が求められているため。								
目標値の設定根拠・算出方法		<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和3年度は中学校については目標値を上回ったが、高い目標値のため、現状維持とした。 ■ 「学校のきまりを守っている」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。 								

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	豊かな心の育成事業	事業番号	038-046
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

(単位：千円)											
事業コスト											
	項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		決算		決算		決算		予算		予算要求	
13	事業費 (a)	1,668		0		511		1,668		1,737	
	国支出金	1,255				511		1,668		1,737	
	府支出金										
	市債										
	その他 ()										
	受益者負担金(使用料、手数料等)										
	一般財源	433		0		0		0		0	
(単位：千円)											
事業費の内訳											
	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	
		R4	予算				R4	予算			
14	道徳教育推進指定校講師謝礼金	R4	予算	575	0	研修会場使用料	R4	予算	115	0	
		R5	予算	644	0		R5	予算	115	0	
	出張旅費	R4	予算	464	0		R4	予算			
		R5	予算	464	0		R5	予算			
	道徳教育推進指定校消耗品	R4	予算	280	0		R4	予算			
		R5	予算	280	0		R5	予算			
	印刷製本費	R4	予算	210	0		R4	予算			
		R5	予算	210	0		R5	予算			
	通信運搬費	R4	予算	24	0		R4	予算			
		R5	予算	24	0		R5	予算			
	(単位：千円)										
	債務負担行為										
15	期間	R ~ R				要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">R4まで</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 研究校を指定し、道徳教育の推進、道徳科の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価の研究を推進 ■ 八下中学校で参集型の研究大会を実施 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 研究校を指定し、道徳教育の推進、道徳科の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価の研究を推進 ■ 錦綾小学校で大阪府小学校道徳教育研究発表大会及び堺市道徳教育研究大会を実施予定 ■ 中学校では大阪府中学校道徳教育研究発表会 堺・泉北大会を実施予定 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R6以降</td> <td>「特別の教科 道徳」についての授業づくり、教科書・副読本の活用、評価についての取組の研究の推進</td> </tr> </table>	R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究校を指定し、道徳教育の推進、道徳科の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価の研究を推進 ■ 八下中学校で参集型の研究大会を実施 	R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究校を指定し、道徳教育の推進、道徳科の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価の研究を推進 ■ 錦綾小学校で大阪府小学校道徳教育研究発表大会及び堺市道徳教育研究大会を実施予定 ■ 中学校では大阪府中学校道徳教育研究発表会 堺・泉北大会を実施予定 	R6以降	「特別の教科 道徳」についての授業づくり、教科書・副読本の活用、評価についての取組の研究の推進
R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究校を指定し、道徳教育の推進、道徳科の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価の研究を推進 ■ 八下中学校で参集型の研究大会を実施 						
R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究校を指定し、道徳教育の推進、道徳科の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価の研究を推進 ■ 錦綾小学校で大阪府小学校道徳教育研究発表大会及び堺市道徳教育研究大会を実施予定 ■ 中学校では大阪府中学校道徳教育研究発表会 堺・泉北大会を実施予定 						
R6以降	「特別の教科 道徳」についての授業づくり、教科書・副読本の活用、評価についての取組の研究の推進						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 研究校を指定し、道徳教育を推進する。 ■ 道徳科の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価についての研究をすすめ、全市に発信する。 ■ 次年度は堺市道徳教育研究大会及び大阪府中学校道徳教育研究発表会を充実させ、取組の成果を全市に発信させる。
----	--

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小中一貫教育充実事業	事業番号	038-131
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育
		部	教育課程

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	有	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		寄与するKPI	有・無	無	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	有	指標名	—			
		寄与するKPI	有・無	無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン
3	事業開始年度	平成 20 年度
3	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法、学校教育法、学習指導要領

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立小中学校の全児童生徒 64,400人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■ すべての中学校区で共通した教育目標を設定し、静謐な教育環境の実現と、総合的な学力の向上に向け義務教育 9 年間の一貫したカリキュラムや指導体制に基づく教育活動を実施し、教科学力・学びの基礎力・社会的実践力を関連づけながら、子ども一人ひとりの総合的な学力の向上を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小中一貫教育の取組を充実させている中学校区の取組の発信・共有 ■ 施設一体型小中一貫校による取組の発信、他市町村からの視察受入れ ■ 小中一貫教育全体協議会等の開催 ■ 小中合同研修、夏季研修等における指導助言
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	物品等販売業者
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
11 中学校区で小中一貫ランドデザイン (めざす子ども像・発達段階に応じた目標・重点となる活動) を共有し、取組を進めている学校数	校	目標値	135	135	135	135
		実績値	126	未実施		
		達成率	93%	-		
当該指標を選定した理由	中学校区で小中一貫教育における取組を進めている学校を客観的に把握するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	学校に対するアンケート (R3以降) ※肯定回答をした学校数					
12 近隣の小・中学校と合同して授業研究や研修等を実施した学校数	校	実績	実績見込み	目標		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
		目標値	135	135		
		実績値	70			
		達成率	52%			
当該指標を選定した理由	学期に1回以上の情報交換会、年1回以上の合同研修会等を計画・実施している学校数を客観的に把握するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	全国学力・学習状況調査 (肯定回答をした学校数)					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	小中一貫教育充実事業	事業番号	038-131
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)									
	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
		決算	決算	決算	予算	予算要求					
13	事業費 (a)	2,474	867	1,760	3,698	3,062					
	財源内訳										
	国支出金	69	30		635						
	府支出金										
	市債										
	その他 ()										
	受益者負担金(使用料、手数料等)										
	一般財源	2,405	837	1,760	3,063	3,062					
事業費の内訳		(単位：千円)									
	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	
		R4	予算				R4	予算			
14	事業費内訳	研修等講師謝礼金	R4	予算	1,219	1,081		R4	予算		
			R5	予算	1,081	1,081		R5	予算		
	小中一貫教育旅費	R4	予算	597	232		R4	予算			
		R5	予算	231	231		R5	予算			
	小中一貫教育消耗品費	R4	予算	1,816	1,720		R4	予算			
		R5	予算	1,720	1,720		R5	予算			
	教育課程研究指定校印刷製本費	R4	予算	36	0		R4	予算			
		R5	予算	0	0		R5	予算			
	小中一貫教育全国連絡協議会正会員会費	R4	予算	30	30		R4	予算			
		R5	予算	30	30		R5	予算			
	債務負担行為		(単位：千円)								
	15	期間	R ~ R		要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">R4まで</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・R1 小中一貫教育全国サミットを開催 ・これまでの小中一貫教育における取組の検証 ・小中一貫ランドデザイン（教育課程）を各中学校区で策定 ・小中一貫教育の導入期から充実期に向けて、重点的に取り組むべき内容の検討 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫ランドデザインに基づいた小中一貫教育の充実 ・中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築する。 ・小中一貫教育を推進する組織を運営し、継続的・安定的に小中一貫教育を行う。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R6以降</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫ランドデザインに基づいた小中一貫教育の充実 ・中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築する。 ・小中一貫教育を推進する組織を運営し、継続的・安定的に小中一貫教育を行う。 </td> </tr> </table>	R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ・R1 小中一貫教育全国サミットを開催 ・これまでの小中一貫教育における取組の検証 ・小中一貫ランドデザイン（教育課程）を各中学校区で策定 ・小中一貫教育の導入期から充実期に向けて、重点的に取り組むべき内容の検討 	R5	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫ランドデザインに基づいた小中一貫教育の充実 ・中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築する。 ・小中一貫教育を推進する組織を運営し、継続的・安定的に小中一貫教育を行う。 	R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫ランドデザインに基づいた小中一貫教育の充実 ・中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築する。 ・小中一貫教育を推進する組織を運営し、継続的・安定的に小中一貫教育を行う。
R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ・R1 小中一貫教育全国サミットを開催 ・これまでの小中一貫教育における取組の検証 ・小中一貫ランドデザイン（教育課程）を各中学校区で策定 ・小中一貫教育の導入期から充実期に向けて、重点的に取り組むべき内容の検討 						
R5	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫ランドデザインに基づいた小中一貫教育の充実 ・中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築する。 ・小中一貫教育を推進する組織を運営し、継続的・安定的に小中一貫教育を行う。 						
R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫ランドデザインに基づいた小中一貫教育の充実 ・中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築する。 ・小中一貫教育を推進する組織を運営し、継続的・安定的に小中一貫教育を行う。 						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <p>中学校区の課題を共有し、課題解決に向けて、具体的な取組を推進するため、各校の担当者による研修を行うなどの機会の設定が必要である。研修謝金や消耗品費を各中学校区に配当することで、小・中学校合同研修を支援する。</p> <p>※昨年度、本事業で予算配当されていた教育課程研究指定校関係予算は、別途予算要求する。 (報償費 138,000円、旅費 365,600円、消耗品費 96,000円 印刷製本費 36,000円)</p>
----	--

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	幼児教育充実事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	事業番号	038-041
	局	教育センター・学校教育	部
		能力開発・教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン、堺市幼児教育基本方針、堺市子ども・子育て総合プラン		
3	事業開始年度	平成 10 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法 学校教育法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関・本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立幼稚園・小学校、市内の就学前教育・保育施設
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	公民園種を超えた市全体の幼児教育の質の向上及び小学校教育との円滑な接続
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育者の資質向上に向けた研修や施設に対する助言・相談業務、幼児教育センター機能の充実 ■ 円滑な幼小接続のための研修や交流活動等の実施 ■ 要配慮児への指導に関する専門家等の派遣や研修等の実施 ■ 公立幼稚園の園運営及び研究実践に係る支援
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市私立幼稚園連合会
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

No.	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	点検年度 令和7年度
11	スタートカリキュラムを編成・実施後に、評価改善を行っている小学校の割合	%	目標値	50	60	70	100	
			実績値	46	58			
			達成率	92%	97%			
	当該指標を選定した理由	円滑な幼小接続に寄与するため						
	目標値の設定根拠・算出方法	令和5年度：70%の学校で実施 令和7年度：全校での実施						
12	活動指標(成果を上げるための手段) 幼保小合同研修会の延べ参加人数	人	実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	390	390	450		
		実績値	341	494				
	達成率	87%	127%					
	当該指標を選定した理由	小学校と幼児教育・保育施設の職員が交流することで相互理解できる機会となり、スタートカリキュラム等について理解が深まるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	6割以上の参加 (260学校園を対象に年間で3回実施)						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	幼児教育充実事業	事業番号	038-041
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)				
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
			決算		決算		決算		予算		予算要求			
事業費 (a)			9,814		7,325		9,427		11,225		11,422			
国支出金			282		759		658		950		907			
府支出金														
市債														
その他 ()														
受益者負担金(使用料、手数料等)														
一般財源			9,532		6,566		8,769		10,275		10,515			
事業費の内訳										(単位：千円)				
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源			
			R4	予算				R4	予算					
		保育補助員 報酬等			R4	予算	6,131	6,131	通信運搬費		R4	予算	23	23
					R5	予算	6,348	6,348			R5	予算	23	23
		専門家等講師謝礼金			R4	予算	1,723	862	使用料 (会場・バス)		R4	予算	287	265
					R5	予算	1,641	821			R5	予算	287	265
		自然環境づくり謝礼金			R4	予算	627	627	備品購入費		R4	予算	0	0
					R5	予算	627	627			R5	予算	65	65
		旅費			R4	予算	34	17	補助金 (幼児教育振興事業等)		R4	予算	1,500	1,500
					R5	予算	31	16			R5	予算	1,500	1,500
		消耗品費 (研究実践支援含む)			R4	予算	900	850			R4	予算		
					R5	予算	900	850			R5	予算		
		債務負担行為										(単位：千円)		
		15	期間	R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R4まで	R2年度の堺市幼児教育基本方針の改定に基づき、教育センター内に幼児教育センター機能を構築し、市内の幼児教育の質の向上をめざしている。公立幼稚園の研究実践機能強化等、幼児教育センター機能の充実を図っている。
16 R5	公立園の研究実践、育成指標に基づいた体系的な研修実施など、幼児教育センター機能の充実を図る。
R6以降	公立園の研究実践、育成指標に基づいた体系的な研修実施など、幼児教育センター機能の充実を図る。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 育成指標や各施設の教育課題に応じた多様な研修を実施。 ■ 巡回相談や園内研修支援など、民間園に対する支援の充実。 ■ 公立幼稚園の園バスの安全な運行など、公立幼稚園の園運営及び研究実践にかかる支援を実施。
------------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他			
		事務事業分類	A 一般事務事業			
事務事業名	特別支援教育環境整備事業		事業番号	038-048		
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	支援教育	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
			有	取組の方向性			④特別支援教育の推進
		寄与するKPI	有・無	指標名			
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5
			有	取組			特別支援教育の推進
寄与するKPI		有・無	指標名				
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画		—				
3	事業開始年度		平成 27 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		■教育基本法 学校教育法 障害者基本法 発達障害者支援法 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	障害のある幼児児童生徒
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■インクルーシブ教育システムの構築をめざし、支援学級の運営支援を柱にした教育環境整備や、保護者の意向を尊重し本人の教育的ニーズを踏まえた就学相談、教育相談の充実を図る。 ■本市の特別支援教育の推進のため、支援学校教員の専門性向上及び支援学校センターの充実を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ■教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、小中学校支援学級、支援学校に特別支援教育支援員を配置。 ・校外学習等に参加する車いす等を使用する小中支援学級、支援学校在籍児童生徒の車両借上費用を補助。 ・小中支援学級・支援学校在籍児童生徒の宿泊行事参加時に、必要に応じて医療的ケア看護職員を派遣。 ・医療的ケアが必要不可欠である小中支援学級、支援学校在籍児童生徒に対し医療的ケア看護職員を派遣。 ・通常の学級に在籍する肢体不自由等の障害により合理的配慮が必要な児童生徒に対して、学校が行う合理的配慮の提供を支援する合理的配慮協力員の活用回数を配当。 ■相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校を窓口にした就学相談の実施。 ・支援教育アドバイザーによる、就学相談、入学後のフォローアップ、支援学級担当教員等への指導・助言。 ・堺市就学支援委員会の開催。 ■研修の実施等による、教員の専門性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・教育センターと連携し、専門性向上に資する研修を実施する。 ・発達障害や通級指導教室に関する知識を有する専門家を派遣し、教員への指導助言等を行う。 ■支援学校センターの機能 <ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士である外部専門家の指導・助言による支援学校教員の専門性向上を図る。 ・地域支援の拠点としてのセンター的機能の充実に向け、支援学校教員とともに自立活動アドバイザーを学校園に派遣し、障害のある子どものアセスメントや教員への指導助言等を行う。 ■特別支援学校教育職員免許法認定講習 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府と連携し、小中支援学級及び支援学校教員の特別支援学校教育職員免許状の取得を推進し、教員の専門性や指導力の向上を図る。 ■特別支援教育研究協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・中・支援学校合同スポーツ大会、小・中支援学校合同学習発表会の実施。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者
10	公民連携・協働事業	—
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記	—

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	特別支援教育環境整備事業	事業番号	038-048
-------	--------------	------	---------

Ⅱ. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
		令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	点検年度 令和7年度
11 「特別支援教育研修及び校区内研修等により、教員の特別支援教育に関する専門性や指導力が向上している」と答えた学校の割合	%	目標値	100	100	100	100	
		実績値	94	100			
		達成率	94%	100%			
当該指標を選定した理由	校区内全体での支援体制の構築には、教員の特別支援教育に関する専門性や指導力の向上が欠かせないため。						
目標値の設定根拠・算出方法	「当てはまる・どちらか」と当てはまる」との回答数/全校園数×100						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		実績見込み		目標	
12 専門家派遣及び支援学校のセンター的機能を活用した学校園への支援割合	%	目標値	100	100	100		
		実績値	112	100			
		達成率	112%	100%			
当該指標を選定した理由	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発達障害児等専門家派遣は、教職員及び保護者等に対して指導助言を行い、教員の資質向上にむけて実施しているため。 ■ 通級指導教室専門家派遣研修は、通級指導教室担当者に対して、専門家による指導助言を行い、通級指導教室担当者の指導力の向上にむけて実施しているため。 ■ 外部専門家については、支援学校のセンター的機能の活用【学校教育法第74条「特別支援学校の地域支援」として、支援学校教員とともに幼・小・中・高に派遣し、地域の学校園の特別支援教育の推進にむけて活用しているため。 						
目標値の設定根拠・算出方法	{発達障害児等専門家派遣執行率+通級指導教室専門家派遣執行率+外部専門家の地域の学校園への派遣回数/(総派遣回数×0.4)} ÷ 3 × 100						

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
13 事業費 (a)	271,696	354,192	367,262	489,787	531,241
財源内訳					
国支出金	5,573	29,371	5,849	12,509	14,413
府支出金	870	1,025		306	
市債					
その他 (ゆめ基金繰入金)				2,265	2,350
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	265,253	323,796	361,413	474,707	514,478

事業費の内訳

(単位：千円)

主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費	
		うち一般財源	うち一般財源			うち一般財源	うち一般財源
特別支援教育支援員関係費	R4 予算	440,499	440,499	消耗品費 (GIGAスクール含む)・印刷製本費・通信運搬費	R4 予算	1,442	1,442
	R5 予算	473,083	473,083		R5 予算	1,527	1,527
看護職員・医療的ケア関係費	R4 予算	33,977	22,647	行事参加用自動車借上料	R4 予算	1,054	1,054
	R5 予算	38,917	25,945		R5 予算	1,419	1,419
謝礼金	R4 予算	8,681	7,491	就学支援委員会 (報酬・食糧費)	R4 予算	214	214
	R5 予算	8,939	7,749		R5 予算	214	214
特別支援教育合同学習発表会・小中支援学校宿泊学習支援業務	R4 予算	3,150	590	百舌鳥支援学校分校関係費・派遣旅費	R4 予算	336	336
	R5 予算	3,106	505		R5 予算	3,612	3,612
研究会負担金・研修参加負担金	R4 予算	270	270	免許法認定講習 (謝礼金・借上料)	R4 予算	164	164
	R5 予算	260	260		R5 予算	164	164

債務負担行為

(単位：千円)

15 期間	R ~ R	要求額
-------	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R4まで	障害のある幼児・児童・生徒の教育環境の整備、専門家の指導助言等による教員の専門性の向上。
	R5	障害のある幼児・児童・生徒の教育環境の整備、専門家の指導助言等による教員の専門性の向上。
	R6以降	障害のある幼児・児童・生徒の教育環境の整備、専門家の指導助言等による教員の専門性の向上。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 増加する支援学級児童生徒への支援の充実 (特別支援教育支援員、医療的ケア看護職員)。 ○ 市全体の特別支援教育を推進するため、引き続き、支援学校の教育とセンター的機能の充実を図る。 ○ GIGAスクールに向け、障害のある子どもへの支援機器を購入。
------------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他			
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	子どもの安全安心対策事業		事業番号	038-056		
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	3.6
		寄与するKPI	有	取組	交通ルールの順守についての啓発、教育		
2 関連計画		堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3 事業開始年度		平成 17 年度		点検年度		令和 7 年度	
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		教育基本法					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立小中学校児童生徒、教職員
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■教職員の危機管理意識を高め、学校の危機管理体制を充実させる。 ■登下校時及び学校における児童生徒の安全を確保する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校区ごとにPTAや地域人材からなる子どもの安全見まもり隊を組織し、登下校時の見守り活動の実施 ■大阪府警察OBを学校安全指導員として採用し、教職員を対象とする不審者侵入時の対応訓練の実施。また、学校への巡回指導等も実施。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	-
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11 子どもの安全見まもり隊の総活動人数	%	目標値	-	-	-	-	-
		実績値	22,288	22,127			
		達成率	-	-			
当該指標を選定した理由		見守り隊はボランティアで成り立っているため、目標値の設定は行わないが、子どもたちが安心して登下校できるよう家庭、地域の参加をお願いしている。					
目標値の設定根拠・算出方法		令和元年度まで組織率が100%が続いていたので、令和2年度より総活動人数を指標として示す。					
12 学校安全指導員による不審者対応訓練又は巡回指導の実施率	%		実績	実績見込み	目標		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		
		目標値	100	100	100		
		実績値	83	93			
達成率		83%					
当該指標を選定した理由		<ul style="list-style-type: none"> ■幼児児童生徒の安全安心のために全校実施をめざす。 ■安全指導員を活用しない場合でも、所轄の警察官や学校独自の取組を必ず行うようにする。 					
目標値の設定根拠・算出方法		学校安全指導員の有用性・指導力を高め、全校の活用を推進する。					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	子どもの安全安心対策事業	事業番号	038-056
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)													
13	財 源 内 訳	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
			決算	決算	決算	予算	予算要求								
		事業費 (a)	9,721	9,692	11,908	12,371	16,126								
		国支出金		1,507	2,203	2,365	2,365								
		府支出金				0									
		市債				0									
		その他 ()				0									
		受益者負担金(使用料、手数料等)				0									
		一般財源	9,721	8,185	9,705	10,006	13,761								
事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
		学校安全指導員報酬	R4	予算	4,419	4,419	安全見まもり隊保険料	R4	予算	3,080	2,054				
			R5	予算	4,536	4,536		R5	予算	3,080	2,054				
		学校安全指導員期末手当	R4	予算	526	526	防犯ブザー	R4	予算	0	0				
			R5	予算	503	503		R5	予算	3,661	3,661				
		学校安全指導員通勤費・出張旅費	R4	予算	330	330		R4	予算						
			R5	予算	330	330		R5	予算						
		安全見まもり隊消耗品	R4	予算	3,956	2,637		R4	予算						
			R5	予算	3,956	2,637		R5	予算						
		安全見まもり隊印刷製本費	R4	予算	60	40		R4	予算						
R5	予算		60	40		R5	予算								
債務負担行為		(単位：千円)													
15		期間					要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R4まで H17見まもり隊活動実施
	R5 継続
	R6以降 継続

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント 学校の危機管理及び子どもの安全確保は、子どもの生命に関わる取組である。子どもの安全見まもり隊による登下校時の子どもの見守り活動は、事件や事故を防ぐうえで重要であることから、地域の子どもたちは地域で守る取組、学校内への不審者侵入に対する指導支援の取組を継続するための経費を要求する。
----	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市教育コミュニティづくり推進事業		事業番号	038-050
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校教育	部
			人権教育	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤ICTを最大限活用した教育の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)		
		寄与するKPI	有	現状値	小6 100.5 中3 95.8(2019年度)	目標値	小6 103.0 中3 100.0(2025年度)
		施策との関連	有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
		取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	-		
		現状値	無	現状値	-		
		目標値	-				

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン				
3	事業開始年度	平成 12 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	陵西中学校区教育コミュニティづくり推進委員
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	陵西中学校区の住民・児童生徒 (約1.4万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	教育の今日的課題及び今後の学校教育が志向すべき方向を踏まえ、新しい時代を見据えた人権文化にあふれた教育実践の一環として、学校・家庭・地域の連携のもと、児童生徒の心と体の健康づくりの教育を推進することを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	中学校区の学校園が連携し、人権や生命、健康の視点で「総合的な学習の時間」に取り組む。地域や学校園の特色を生かした文化・スポーツ活動を通じて同じ地域に暮らす子どもどうしの心のきずなを深めるとともに、子どもたちが自ら未来を切り拓く力を育成するために、地域の大人が積極的にかかわり、地域が一体となって子どもを育てる環境をつくる。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度		
11 陵西中学校区の子ども、保護者、地域の方を対象とした地域事業の参加者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,100		
		実績値	0	0				
		達成率	0%	0%				
当該指標を選定した理由		事業の目的が、学校・家庭・地域の連携のもと、児童生徒の心と体の健康づくりの教育を推進するため、地域の大人が積極的にかかわり、地域が一体となることであるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		これまでの事業(陵西フェスタ)をもとにした数値。ただし、令和2年度から4年度は実施せず。						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 陵西中学校区教育コミュニティ推進委員会の活動を通して校区住民の人権教育や人権課題への関心を深める	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度			
			目標値	15	15	15		
			実績値	14	15			
		達成率	93%	100%				
当該指標を選定した理由		事業の成果を上げるため、陵西中学校区のPTA、学校や保育所園関係者、地元関係者等で組織された団体の活動が重要であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		陵西中学校区教育コミュニティづくり推進委員会が総会等で示した回数						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	堺市教育コミュニティづくり推進事業	事業番号	038-050
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	決算	決算	決算	予算	予算要求		
事業費 (a)	500	500	472	446	422		
13 財源内訳	国支出金						
	府支出金						
	市債						
	その他 ()						
	受益者負担金(使用料、手数料等)						
	一般財源	500	500	472	446	422	
事業費の内訳		(単位：千円)					
主な項目	年度	事業費	うち一般財源	主な項目	年度	事業費	うち一般財源
14 事業費内訳	堺市教育コミュニティづくり指針事業 (委託料)	R4	予算	446	446		
		R5	予算	422	422		
		R4	予算				
		R5	予算				
		R4	予算				
		R5	予算				
		R4	予算				
		R5	予算				
		R4	予算				
		R5	予算				
	債務負担行為		(単位：千円)				
	15	期間	R ~ R		要求額		

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16 R4まで	■ 陵西中学校区で、保育所園・小学校・中学校が連携した取組を実施
R5	■ 陵西中学校区で、保育所園・小学校・中学校が連携した取組を実施
R6以降	■ 陵西中学校区で、保育所園・小学校・中学校が連携した取組を実施

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	■ 事業の継続実施に必要な経費を計上する。
------------	-----------------------

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	人権教育推進事業			事業番号	038-059
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	人権教育

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進	
		有	取組の方向性	①個性や違いを理解して自他ともに尊重できる心の育成				
	寄与するKPI	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)				
		有	現状値	小6 100.5 中3 95.8(2019年度)	目標値	小6 103.0 中3 100.0(2025年度)		
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.7	
	有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進					
	寄与するKPI	有・無	指標名	-				
	無	現状値	-		目標値	-		

2	関連計画					
3	事業開始年度	昭和 40 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 ■ 堺市平和と人権を尊重するまちづくり条例 				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市立学校園の教職員・幼児児童生徒 (約6.8万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺市立学校園における人権教育の推進及び教職員の人権意識の向上を図り、幼児児童生徒の人権感覚の育成をめざす。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	堺市立学校園における校内研修への指導・助言を行う。 また、堺市人権教育研究会と共催し、人権教育夏期研究会等の開催や各学校園の人権教育主催者会、にんげん学習交流会、平和人権学習交流会等を通じ、人権教育に関する実践の交流を深め、人権教育の深化・充実に努める。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市人権教育研究会
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度		
11 人権教育夏期研究会及び人権教育研究会等の参加者数	人	目標値	3,640	4,500	5,500	7,500		
		実績値	3,763	4,960				
		達成率	103%	110%				
当該指標を選定した理由		幼児児童生徒の人権感覚の育成を行うには、教職員自身の人権意識の向上を図る必要があるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		目標値は人権教育夏期研究科、人権教育研究会、人権教育主催者会、堺未来塾の参加者見込み数の合計。						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度			
12 教職員に対する研修機会の提供	校	目標値	23	23	23			
		実績値	15	15				
		達成率	65%	65%				
当該指標を選定した理由		学校園における人権教育を担う教員の知的理解や人権感覚の醸成のためには、研修の機会を確保する必要があるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		堺市人権教育研究会と連携して実施する研修回数						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	人権教育推進事業	事業番号	038-059
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	決算	決算	決算	予算	予算要求	
事業費 (a)	4,941	2,733	5,005	4,388	4,344	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源					

事業費の内訳 (単位：千円)

主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費	
		事業費	うち一般財源			事業費	うち一般財源
人権教育推進研究会負担金	R4	予算	3,823	研修会等参加負担金	R4	予算	30
	R5	予算	3,784		R5	予算	30
講師謝礼金	R4	予算	310		R4	予算	
	R5	予算	307		R5	予算	
普通旅費	R4	予算	125		R4	予算	
	R5	予算	124		R5	予算	
消耗品費	R4	予算	96		R4	予算	
	R5	予算	95		R5	予算	
物品等修繕料	R4	予算	4		R4	予算	
	R5	予算	4		R5	予算	

債務負担行為 (単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R4まで	事業の見直し
R5	事業の継続実施
R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	幼児児童生徒の人権感覚育成のために、子どもたちへの人権教育の担い手である教員の人権感覚を一層醸成し、だれ一人取り残されない教室の実現に向け、研修等の機会を確保するためのICT推進体制を構築する必要がある。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	人権学習推進事業			事業番号	038-060
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	人権教育

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①個性や違いを理解して自他ともに尊重できる心の育成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)		
		寄与するKPI	有	現状値	小6 100.5 中3 95.8(2019年度)	目標値	小6 103.0 中3 100.0(2025年度)
		施策との関連	有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
		寄与するKPI	有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進		
		寄与するKPI	無	現状値	-	目標値	-
2	関連計画						-
3	事業開始年度			昭和 46 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 ■ 堺市平和と人権を尊重するまちづくり条例
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)						本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)						堺市立学校園の保護者及び教職員 (約6.8万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)						堺市立学校園の保護者及び教職員を対象に、人権及び人権課題についての理解を深め、すべての人の人権が尊重された社会の実現に向け、人権に関する講座の開催や人権啓発冊子の発行などを通じて、人権教育・人権啓発を行う。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)						<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権啓発冊子のデータ配信 年1回配信 周知文 (A5サイズ) 77,000部 ■ 堺市PTA人権研修会 各学校園PTAを対象に年間3回の研修会を開催 ■ 学校園PTA研修への支援 学校園PTA主催の人権研修会講師を紹介
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						-
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						-
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						委託業者
10	公民連携・協働事業						-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検年度
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	堺市PTA人権研修会参加者に対するアンケートで人権に対する意識が「深まった」「少し深まった」と回答した人の割合	%	目標値	100(1,400)	100(1,400)	100(1,400)	100(1,400)
			実績値	97(900)	100(1,400)		
		達成率	97%	100%			
	当該指標を選定した理由						事業の主要な目的である保護者への人権啓発の達成度を示している数値であるため。
	目標値の設定根拠・算出方法						参加者全員が「深まった」「少し深まった」と思えるよう、目標値を100%とする。
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	堺市PTA人権研修会への参加者数	人	目標値	800(400*2日)	1200(400*3日)	1200(400*3日)	
			実績値	800(400*2日)	1200(400*3日)		
		達成率	100%	100%			
	当該指標を選定した理由						保護者への人権啓発の成果を上げるには、教育委員会が開催する人権研修に、より多く参加してもらう必要があるため。
	目標値の設定根拠・算出方法						堺市立学校園数×3人×3回を目標値とする。

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	人権学習推進事業	事業番号	038-060
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)								
	項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
		決算	決算	決算	予算	予算要求				
	事業費 (a)	3,425	3,355	3,432	2,370	2,331				
13	財源内訳									
	国支出金									
	府支出金									
	市債									
	その他 ()									
	受益者負担金(使用料、手数料等)									
	一般財源	3,425	3,355	3,432	2,370	2,331				
事業費の内訳		(単位：千円)								
	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R4	予算				R4	予算		
14	選定委員報酬	R4	予算	62	62		R4	予算		
		R5	予算	0	0		R5	予算		
	人権啓発冊子作成業務委託料	R4	予算	2,165	2,165		R4	予算		
		R5	予算	2,143	2,143		R5	予算		
	人権研修会会場借上料	R4	予算	120	120		R4	予算		
		R5	予算	119	119		R5	予算		
	講師謝礼金	R4	予算	23	23		R4	予算		
		R5	予算	23	23		R5	予算		
	総合評価一般競争入札委員謝礼金	R4	予算	0	0		R4	予算		
		R5	予算	46	46		R5	予算		
	債務負担行為		(単位：千円)							
	15	期間	R ~ R			要求額				

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R4まで	事業の継続実施
16 R5	事業の継続実施
R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権研修については、地域・保護者の人権意識向上のために、より一層内容等を検討し、今日的課題も含めさまざまな人権課題への理解を深め、解決に向けての具体的な行動につないでいけるよう、機会と質の充実が必要。 ■ 幼児児童生徒の人権意識を育成し、いじめ問題をはじめ様々な人権課題を解決するためには、学校園の人権教育のみでは不十分であり、保護者の人権感覚が極めて重要である。そのため、人権教育課では、PTAを対象として、人権研修の開催（年3回）と人権啓発冊子（データ配信）の全保護者へ周知文（約64,000部）への配付を両輪として、保護者の人権啓発に努めている。 ■ 人権啓発冊子については、今年度よりデータ配信に切り替え、幼児児童生徒の全家庭に周知文を配付し、関心のある保護者だけではなく、啓発が特に困難とされる家庭に対しても出来るだけ読んでもらえるよう、ストーリーマンガを作成し、身近なツールであるスマートフォン、タブレット等を通じて、人権について学び、考え、家庭での会話につながる啓発効果が期待できる。 ■ 啓発冊子については、令和3年度人権啓発関係資料に対する法務大臣表彰の最終選考に選出予定になるなど、大きな関心を持たれている。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	教育支援教室	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務局	事業番号	038-065
	局	教育センター	部
		企画相談課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5
			有	取組	不登校、いじめの防止に向けた取組の強化		
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度	平成 8 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市内在住の小学4年生から中学3年生までの不登校児童生徒
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	心理的又は情緒的な原因等により、不登校の状態にある児童又は生徒に対し、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう支援・指導を行う。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>■ R4年度 以下の4か所 (2か所常設) と (2か所出張所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 適応指導教室スプリングポート (堺区錦之町西2丁2-34) ◆ 適応指導教室ユアイルーム (美原区黒山167-9) ◆ 出張適応指導教室 (桐教室) (毎週火・木曜日の午前中に開室) 南区桃山台2丁1-2 (桐文化会館内) ◆ 出張適応指導教室 (深井教室) (毎週水・金曜日に開室) 中区深井清水町1426番地 (中文会館内) <p>■ R5年度 以下の4か所 (2か所常設) と (2か所出張所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 適応指導教室スプリングポート (堺区錦之町西2丁2-34) ◆ 適応指導教室ユアイルーム (美原区黒山167-9) ◆ 出張適応指導教室 (桐教室) (毎週火・木曜日の午前中に開室) 南区桃山台2丁1-2 (桐文化会館内) ◆ 出張適応指導教室 (深井教室) (火曜日から金曜日の週4日開室) 中区深井清水町1426番地 (中文会館内) <p>・集団への参加及び対人関係への支援及び指導 ・自立への援助及び支援及び指導 ・学習支援 ・家庭及び学校との連携</p>
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検年度 令和7年度
11 社会的自立や学校復帰のための子どもの基礎力達成率	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	90	85		
		達成率	90%	85%		
当該指標を選定した理由	社会的自立や学校に復帰するために通室児童生徒本人が身につけるべき力「学習習慣・学習意欲」と「対人関係能力」を子どもの基礎力とする。子どもの基礎力が高い水準であると、進路選択や社会的自立、学校復帰傾向がみられるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	通室児童生徒に対するアンケート。アンケートより当該項目に対して肯定的な回答を行ったものの割合から算出					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 通室生の平均通室率	%	実績	令和3年度	実績見込み	目標	
			令和4年度	令和5年度		
		目標値	80	80	80	
		実績値	80	80		
達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由	通室については、個々の状況に応じて設定をしている。通室設定された通室日に来ることができたかを把握することで通室設定によってかかる子どもたちへの負荷が妥当であったかどうかを検証するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	個々の通室設定日に対して通室できた割合の平均					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	教育支援教室	事業番号	038-065
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)						
事業費 (a)	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
		決算	決算	決算	予算	予算要求		
	事業費 (a)	34,909	34,862	39,892	42,886	47,866		
13 財 源 内 訳	国支出金							
	府支出金							
	市債							
	その他 (施設光熱水費徴収金)	19	29	17	28	28		
	受益者負担金(使用料、手数料等)							
	一般財源	34,890	34,833	39,875	42,858	47,838		
事業費の内訳		(単位：千円)						
事業費内訳	主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費	
			事業費	うち一般財源			事業費	うち一般財源
14	会計年度任用職員報酬	R4 予算	27,881	27,881	教育支援教室警備業務	R4 予算	360	360
		R5 予算	29,694	29,694		R5 予算	360	360
	期末手当(会計年度任用職員)	R4 予算	4,938	4,938	樹木剪定・整枝、薬剤散布業務	R4 予算	400	400
		R5 予算	5,684	5,684		R5 予算	400	400
	謝礼金(枠)	R4 予算	3,600	3,600	通信運搬費(枠)	R4 予算	303	303
		R5 予算	4,200	4,200		R5 予算	332	332
	費用弁償(通勤費)	R4 予算	2,028	2,028	会場等借上料(枠)	R4 予算	1,405	1,405
		R5 予算	2,028	2,028		R5 予算	2,862	2,862
	消耗品費(枠)	R4 予算	692	692	その他	R4 予算	1,279	1,262
		R5 予算	892	892		R5 予算	1,414	1,386
	債務負担行為		(単位：千円)					
	15	期間	R ~ R		要求額			

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">R4まで</td> <td>H20 南区に出張適応指導教室開室 H30 「梅教室」の開室を週2回に増加 R1 全適連近畿・中国地域会議開催 R2 コロナ禍の中学校に準じて開室 R3 出張教育支援教室深井教室を開室</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 ■ 出張教育支援教室深井教室の開室日を週2日から週4日へ </td> </tr> <tr> <td>R6以降</td> <td>継続実施</td> </tr> </table>	R4まで	H20 南区に出張適応指導教室開室 H30 「梅教室」の開室を週2回に増加 R1 全適連近畿・中国地域会議開催 R2 コロナ禍の中学校に準じて開室 R3 出張教育支援教室深井教室を開室	R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 ■ 出張教育支援教室深井教室の開室日を週2日から週4日へ 	R6以降	継続実施
R4まで	H20 南区に出張適応指導教室開室 H30 「梅教室」の開室を週2回に増加 R1 全適連近畿・中国地域会議開催 R2 コロナ禍の中学校に準じて開室 R3 出張教育支援教室深井教室を開室						
R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 ■ 出張教育支援教室深井教室の開室日を週2日から週4日へ 						
R6以降	継続実施						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 個に応じたきめ細かな対応を行い、個別最適化された支援を行いながら、入室してきた不登校状態にある子どもたちが主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう支援を行う。 ■ 議会でもたびたび取り上げられる出張教育支援教室深井教室の開室を現状の週2日から週4日へ倍増するとともに、子どものより良い支援への対応のため、会計年度任用職員報酬、サポーター謝礼金、貸室使用料について増加要求する。
----	--

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	教育相談事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務局	事業番号	038-066
	局	部	課
	教育センター	企画相談課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	指標名	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5
		寄与するKPI	無	取組	不登校、いじめの防止に向けた取組の強化	指標名	—
			現状値	—	目標値	—	

2 関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン
3 事業開始年度	昭和 40 年度
	点検年度
	令和 7 年度
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育文化センター条例 発達障害者支援法

事業の概要

5 事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関
6 事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	不登校や発達障害などの課題を抱えた児童生徒、子どもの教育について悩む保護者、子どもや保護者への対応に悩む教員など。
7 事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	子どもの教育に関する課題が多様化・複雑化する中で、不適応を示す子ども、不安を抱く保護者、そして対応に悩む教員など、それぞれが、課題に向けて一定の自信を回復し、現実的な解決にめどが立つ状態にする。
8 事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	子ども・保護者・教職員を対象に、不登校・いじめ・虐待・非行・集団不適応・発達障害等の教育上の課題について、面接や24時間電話による教育相談を実施し、子どもの健やかな成長発達を促し、自立を支援する。面接相談は教育文化センター（ソフィア教育相談）と人権ふれあいセンター（ふれあい教育相談）の2か所で行う。また、相談員の専門性の向上を図り、ケース会議や教員研修を実施して学校の教育力向上を図っている。
9 主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	ダイヤル・サービス株式会社
10 公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	目標値	実績	実績見込み	目標	目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検年度 令和7年度
11 面接相談の課題達成率 (年間相談件数のうち、解決件数及び課題解決に向け良好な形で継続している件数の占める割合)	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	95	94		
		達成率	95%	94%		
当該指標を選定した理由	理由なく中断となった相談数及び課題解決に至っていない相談数の割合を算出し、より良い対応へとつなげるため					
目標値の設定根拠・算出方法	相談最終件数及び課題解決に向け良好な形で継続している件数 ÷ 総相談件数 × 100					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 学校との連携率 (ただし、相談者が希望しない場合は学校に連絡をすることはしない)	%	目標値	75	75	75	
		実績値	75	75		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由	他機関連携の一つの指標として連携率を出している					
目標値の設定根拠・算出方法	連携を取った学校件数 ÷ 来所児童生徒の所属学校数 × 100					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	教育相談事業	事業番号	038-066
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)									
13	財 源 内 訳	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
			決算	決算	決算	予算	予算要求				
		事業費 (a)	16,332	15,608	16,373	16,711	16,722				
		国支出金	3,358	3,435	3,363	3,369	3,369				
		府支出金									
		市債									
		その他 ()									
		受益者負担金(使用料、手数料等)									
		一般財源	12,974	12,173	13,010	13,342	13,353				
事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源		
		電話教育相談事業 (枠)	R4	予算	13,860	10,651	普通旅費 (枠)	R4	予算	201	201
			R5	予算	13,860	10,651		R5	予算	100	100
		通信運搬費 (枠)	R4	予算	754	594	費用弁償 (その他) (枠)	R4	予算	88	88
			R5	予算	754	594		R5	予算	95	95
		医師報酬 (枠外)	R4	予算	560	560	会場等借上料 (枠)	R4	予算	63	63
			R5	予算	560	560		R5	予算	80	80
		消耗品費 (枠)	R4	予算	838	838	研修会等参加負担金 (枠)	R4	予算	56	56
			R5	予算	538	538		R5	予算	37	37
		謝礼金 (枠)	R4	予算	287	287	その他	R4	予算	4	4
			R5	予算	287	287		R5	予算	411	411
債務負担行為		(単位：千円)									
15		期間	R5 ~ R8		要求額	35,000					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	<p>R4まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 令和3年度コロナ禍において、対面での研修実施ができなかったため、オンラインでの研修を行ったが、今年度は対面形式で研修を実施した。教育相談の研修は知識の伝達だけではなく、ワークを伴うものが多いため、対面実施が好評であった。 ■ 教育相談 (面接相談と24時間電話相談) の実施した。 <p>R5</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教育相談グループの実施する教職員対象研修について、より充実を図るため、研修内容の精査を行い、実施する。 ■ 教育相談 (面接相談と24時間電話相談) の継続実施。 <p>R6以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教育相談グループの実施する教職員対象研修についての充実。 ■ 教育相談 (面接相談と24時間電話相談) の継続実施。

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ①いじめ・不登校問題に関する研修について、教職員にとって必要と考えられるものを精査し、実施する。 ②24時間電話教育相談の安定的かつ継続性を鑑み、夜間・日祝日問わずいつでも対応できるよう相談体制を充実させる。 ③拡大ケース会議等を通して、相談員の専門性向上により、発達障害等に関する教育相談を充実し、子どもやその保護者、教職員を支援する。 ④知能発達の検査の中で最も頻度高く使用される検査キットの配備を完了させ、子どもの見立てに活かすようにしていく。
----	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	科学教育推進事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務局	事業番号	038-061
	局 教育センター	部	能力開発課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進		
		有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成					
	寄与するKPI	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)					
		有	現状値	小6 100.5 中3 95.8(2019年度)	目標値	小6 103.0 中3 100.0(2025年度)			
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに				ターゲット	4.1
	有	取組	総合的な学力の育成						
	寄与するKPI	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)					
	有	現状値	小6 : 100.5、中3 : 95.8(2019年度)	目標値	小6 : 102.0、中3 : 98.0(2023年)				

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 一 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育公務員特例法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 理科教育振興法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	小学校教員・中学校理科教員(約2,300人)、児童・生徒 (約64,000人)、市民 (約82万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	教員の理科指導力の向上、児童生徒の理科に対する関心意欲の向上、市民の科学に対する意識の向上を目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・教員研修 教材研修、理科主任研修、理科授業づくり研修、スキルアップ研修等の集合研修に加え、学校からの要請に基づき、学校へ指導主事を派遣し、指導助言をする。 ・堺市学校理科展覧会の開催 児童生徒及び教職員の理科研究を奨励し、研究交流の場として、研究物並びに製作物の展示・発表を行う。 ・小学校理科特別授業実施事業 関係団体の専門家を講師に招聘し、技術の実用事例を基にした内容で小学校理科特別授業を実施する。 ・科学催事「堺科学教育フェスタ」・市民科学講座の開催 ・堺サイエンスクラブ 小学校6年生を対象に、大阪公立大学の「未来の博士育成ラボ」と連携した継続的な研究活動を通して、観察実験の技能・科学的思考力・プレゼン能力等の向上を図り、将来科学分野で活躍する人材を育成する。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—
10	公民連携・協働事業	大阪公立大学

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

No.	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	点検年度
11	「理科の授業の内容はよくわかりますか。(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)」と答えた児童・生徒の割合	%	目標値	76	76	77	78	
			実績値	79	81			
			達成率	104%	107%			
	当該指標を選定した理由	教員の理科指導力が向上しているのかを、生徒の意識調査の結果で見取るため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	中学校2年生の意識調査の結果・2年で1%向上することをめざす						
12	活動指標(成果を上げるための手段) 教員研修の実施回数	回	実績	実績見込み	目標			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度			
			目標値	112	100	100		
	実績値	77	84					
達成率	69%	84%						
	当該指標を選定した理由	教員の理科授業力の向上に向けて、教員研修の実施が有効な手立てであると考えたため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	教員研修計画に基づき、集合研修50回の実施及び理科出張研修での年間50回の学校訪問の合計。						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	科学教育推進事業	事業番号	038-061
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)									
	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
		決算	決算	決算	予算	予算要求					
13	事業費 (a)	9,889	10,203	5,328	8,448	8,537					
	財源内訳										
	国支出金	0	0	0	0	0					
	府支出金	0	0	0	0	0					
	市債	0	0	0	0	0					
	その他 ()	3,876	4,080	1,737	2,561	2,611					
	受益者負担金(使用料、手数料等)										
	一般財源	6,013	6,123	3,591	5,887	5,926					
事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事業費内訳	主な項目	年度	事業費	うち一般財源	主な項目	年度	事業費	うち一般財源		
		会計年度任用職員報酬、通勤費等	R4	予算	4,993	4,993	印刷製本費	R4	予算	71	71
			R5	予算	5,082	5,082		R5	予算	75	75
		科学催事事業	R4	予算	2,250	0	その他報償費	R4	予算	77	77
			R5	予算	2,300	0		R5	予算	71	71
		消耗品費	R4	予算	666	496	費用弁償 (その他)	R4	予算	42	42
			R5	予算	618	448		R5	予算	42	42
		謝礼金	R4	予算	181	40	通信運搬費	R4	予算	19	19
			R5	予算	181	40		R5	予算	19	19
		普通旅費	R4	予算	131	131	その他	R4	予算	18	18
			R5	予算	131	131		R5	予算	18	18
債務負担行為		(単位：千円)									
15	期間	R ~ R			要求額	0					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">R4まで</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 理科に関する専門性の低い小学校教員を中心に、子どもの安全、資質・能力の向上のため教員研修を実施。 ■ 堺市学校理科展覧会や企業による理科実験教室、堺サイエンスクラブ等を児童生徒へ直接実施。 ■ R3年度から科学催事「堺科学教育フェスタ」と「堺で科学サイエンス」を統合、一部オンラインも取り入れ実施。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 研修のための消耗品等の予算を削減し、実施予定。 ■ 教員研修については、ICTの活用等、近年大きく変化している学校の状況を踏まえ、研修内容を検討し実施する。 ■ 催事に関しては、限られた予算・人員の中、一部業務委託をしながら協力団体と連携し、実施する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R6以降</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 産官学連携を実施し、新たな連携の検討。 </td> </tr> </table>	R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理科に関する専門性の低い小学校教員を中心に、子どもの安全、資質・能力の向上のため教員研修を実施。 ■ 堺市学校理科展覧会や企業による理科実験教室、堺サイエンスクラブ等を児童生徒へ直接実施。 ■ R3年度から科学催事「堺科学教育フェスタ」と「堺で科学サイエンス」を統合、一部オンラインも取り入れ実施。 	R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修のための消耗品等の予算を削減し、実施予定。 ■ 教員研修については、ICTの活用等、近年大きく変化している学校の状況を踏まえ、研修内容を検討し実施する。 ■ 催事に関しては、限られた予算・人員の中、一部業務委託をしながら協力団体と連携し、実施する。 	R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産官学連携を実施し、新たな連携の検討。
R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理科に関する専門性の低い小学校教員を中心に、子どもの安全、資質・能力の向上のため教員研修を実施。 ■ 堺市学校理科展覧会や企業による理科実験教室、堺サイエンスクラブ等を児童生徒へ直接実施。 ■ R3年度から科学催事「堺科学教育フェスタ」と「堺で科学サイエンス」を統合、一部オンラインも取り入れ実施。 						
R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修のための消耗品等の予算を削減し、実施予定。 ■ 教員研修については、ICTの活用等、近年大きく変化している学校の状況を踏まえ、研修内容を検討し実施する。 ■ 催事に関しては、限られた予算・人員の中、一部業務委託をしながら協力団体と連携し、実施する。 						
R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産官学連携を実施し、新たな連携の検討。 						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 本市は、科学館がなく、市民に対して実施している市民科学講座、科学催事が本市で唯一の科学教育推進の場となっているが、令和3年度は、コロナ対策にかかる人件費が加算されたため、科学催事事業の業務を予算内で契約をすることができなかった。令和4年度は、予算を増額した上で一部を内製で実施したが、職員の負担が増加した。令和5年度も科学催事事業についてコロナ対策を見越して予算化をする必要があるため、増としている。増の分は、科学教育研修用消耗品や理科展消耗品の費用を減としている。 ■ 会計年度任用職員報酬の規定の変更により、事業費としては増額となっているが、枠内予算全体としては増額していない。
----	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	教職員研修	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務局	事業番号	038-067
	局	部	課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①信頼される教員の育成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれる（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合		
		寄与するKPI	有	現状値	小6 88.4%、中2 78.8%(2019年度)	目標値	小6 90.0%、中2 85.0%(2025年度)
		施策との関連	有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1
		寄与するKPI	有	取組	総合的な学力の育成		
			有	指標名	学力調査の堺市の平均値（全国を100とした場合）		
			有	現状値	小6 : 100.5、中3 : 95.8(2019年度)	目標値	小6 : 102.0、中3 : 98.0(2023年)
2	関連計画	堺市教育大綱 第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度	平成 一 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	地方公務員法 教育公務員特例法 地方公務員特例法施行令 地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市立学校園の教職員					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	「強い情熱」「確かな力量」「総合的な人間力」をそなえた教職員の育成とともに、学校園全体としての「学校力」を高める。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教職員の経験等に応じた研修・授業力、指導力、マネジメント力の向上を図る研修、および人権教育をはじめとする教育課題に対応する総合的な資質向上を図る研修を計画的、体系的に実施するとともに、自主研修、研究を支援する。 ■ 各学校を巡回訪問し、採用1年次の初任者を中心に、3年次までの経験年数の少ない教員の指導や「堺版授業スタンダード」の徹底を図る専門指導員を配置する。 ■ 教育センターが作成した「校園内研修ガイドブック」や「堺版教師学び合いスタンダード」の効果的な活用を促し、研修主任を核とした校園内研修の充実を図る。 					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	-					
10	公民連携・協働事業	-					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	研修後のアンケート結果 (研修内容における満足度)	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	97	98		
			達成率	97%	98%		
	当該指標を選定した理由	研修終了後のアンケート調査を実施することで研修効果を測定し、事業成果を図るため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	研修アンケート「研修内容はあなたの期待や要望に応えたものか」において、強く思う、そう思うと答えた割合					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	教職員研修の実施回数	回	目標値	202	250	300	
			実績値	247	350		
			達成率	122%	140%		
	当該指標を選定した理由	教職員研修を実施することで、教職員の育成を図るため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度の実施研修から、アンケート結果・社会の情勢を踏まえ適性と考えられる回数					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	教職員研修	事業番号	038-067
-------	-------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	60,149	54,552	34,926	56,200	72,058
13 財源内訳					
国支出金		2,422	1,227	1,247	1,422
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	60,149	52,130	33,699	54,953	70,636

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費			
			事業費	うち一般財源			事業費	うち一般財源		
14	会計年度任用職員報酬	R4	予算	37,220	36,176	消耗品費	R4	予算	1,621	1,621
		R5	予算	50,955	49,765		R5	予算	1,621	1,621
	期末手当(会計年度任用職員)	R4	予算	4,643	4,517	普通旅費【政令市分含む】	R4	予算	1,708	1,708
		R5	予算	5,899	5,755		R5	予算	1,708	1,708
	謝礼金	R4	予算	3,723	3,723	会場借上料	R4	予算	555	555
		R5	予算	3,585	3,585		R5	予算	555	555
	費用弁償(その他)	R4	予算	1,543	1,543	教職大学院負担金	R4	予算	564	564
		R5	予算	1,997	1,997		R5	予算	282	282
	費用弁償(通勤費)	R4	予算	2,808	2,731	その他	R4	予算	1,815	1,815
		R5	予算	3,744	3,656		R5	予算	1,712	1,712

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校力の向上を図る校内研修の推進及び「学び続ける教職員」の育成に向けた研修の実施。働き方改革に沿った集合研修の内容・回数 の精査とともに、集合研修のみならず動画配信型研修・オンライン研修を組み合わせたよりよい研修実施方法の選択および学校の課題、ニ ーズに応じた研修実施。学校管理職のマネジメント力の向上、ミドルリーダー育成のための研修体制の構築・研究を進め、実施（試行的な実施 分も含む）する。
	R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ R4までの取り組みを進めるとともに、学校管理職のマネジメント力の向上、ミドルリーダー育成における研修の検証を進めつつ改善を図る。また 研修履歴を活用した、研修の受講奨励等についても計画的に進めていく。
	R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ R5までの取り組みを進めるとともに、引き続き学校管理職のマネジメント力の向上、ミドルリーダー育成における研修の検証を進めつつ改善を 図る。研修履歴を活用した、研修の受講奨励等については文部科学省開発のプラットフォーム・システムを活用し運用を進める。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たな社会に対応できる教職員を育成するために大学や民間企業等との連携を進めた教職員研修の実施及び研 修開発にかかるその他（負担金など）の予算額維持 ■ 養成・採用・育成の一貫した初任者・若手教員の育成のため専門指導員等の活用に係る予算増
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	幼稚園管理運営事業(教育センター)	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務 局	事業番号	038-114
	教育センター 部	能力開発	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	保育所等待機児童数			
		寄与するKPI	有	現状値	11人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)	
		施策との関連	有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2	
		寄与するKPI	有	取組	幼児教育・保育施設の待機児童解消に向けた受入枠の確保			
		寄与するKPI	無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	未来をつくる堺教育プラン、堺市子ども・子育て総合プラン
3	事業開始年度	平成 23 年度
		点検年度
		令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市立幼稚園預かり保育実施要綱

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	実施園 (4園) に在園する幼児及び保護者
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	幼児教育の充実、子育て支援の充実を図るため
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	堺市立幼稚園4園 (白鷺、津久野、三国丘、みはら大地) において、教育課程に係る教育時間の終了後等に、希望する在園児を対象に預かり保育を実施する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—
9	主な支出先 (委託、補助金・負担金等)	—
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度		
11	明日かり保育延べ利用者数	人	目標値	13,500	8,600	8,000	8,000	
			実績値	9,339	8,818			
			達成率	69%	103%			
	当該指標を選定した理由	利用者が多くなれば、子育て支援の充実につながるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	令和5年度：(実施園4園) 利用の対象となる在園児数や前年度実績等を踏まえて算出 令和7年度：利用の対象となる在園児数等を踏まえて算出						
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度			
12	預かり保育実施日数	日	目標値	217	217	217		
			実績値	215	219			
			達成率	99%	101%			
	当該指標を選定した理由	利用希望者が利用できる日数を確保する必要があるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立幼稚園預かり保育実施要綱に基づいた各園の実施予定日数の平均						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	幼稚園管理運営事業(教育センター)	事業番号	038-114
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)												
	項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		決算		決算		決算		予算		予算要求				
13	事業費 (a)	5,217		9,160		10,092		14,188		10,731				
	財源内訳	1,563		1,645		2,701		3,176		2,215				
	国支出金	1,563		1,645		2,701		3,176		2,215				
	府支出金													
	市債													
	その他 (預かり保育料)	1,601		1,439		4,690		5,050		4,220				
	受益者負担金(使用料、手数料等)													
	一般財源	490		4,431		0		2,786		2,081				
事業費の内訳		(単位：千円)												
	主な項目	年度		事業費		うち一般財源		主な項目	年度		事業費		うち一般財源	
		R4	予算	R5	予算	R4	予算		R4	予算	R5	予算	R4	予算
14	事業費内訳	R4	予算	11,506	104	(閉園対応) 消耗品費	R4	予算	400	400				
	会計年度任用職員報酬	R5	予算	9,455	805		R5	予算	0	0				
	費用弁償(通勤費)	R4	予算	2,028	2,028	(閉園対応) 使用料および賃借料	R4	予算	224	224				
		R5	予算	1,242	1,242		R5	予算	0	0				
	普通旅費	R4	予算	9	9		R4	予算						
		R5	予算	6	6		R5	予算						
消耗品費	R4	予算	10	10		R4	予算							
	R5	予算	10	10		R5	予算							
手数料	R4	予算	11	11		R4	予算							
	R5	予算	18	18		R5	予算							
債務負担行為		(単位：千円)												
15	期間	R ~ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R4まで モデル事業を経て、令和3年度は6園での実施となり、延べ利用者数は増加し、子育て支援の充実につながっている。
R5	令和5年度からは4園での実施となる。
R6以降	4園での実施を継続。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント 子育て支援の充実や保育所待機児童の解消につながる、公立幼稚園4園での預かり保育を安全に実施するため、必要な会計年度任用職員の人件費等を計上する。
----	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名		事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名		事業番号	038-069
教育委員会事務	局	地域教育支援	部
		地域教育振興	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有・無	取組の方向性	⑥生涯学習の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
		寄与するKPI	有・無	取組	生涯を通じた学びの支援		

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	昭和 63 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■堺市立舳松社会教育会館条例、堺市立舳松社会教育会館管理運営規則 ■堺市立舳松社会教育会館使用料規則		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■会館の周辺地域の住民をはじめとする堺市民等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■基本的な人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、同和問題をはじめあらゆる人権問題の速やかな解決をめざし、文化活動を通して市民の教養と文化の向上に資することを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■舳松社会教育会館の維持管理及び会議室・和室の貸室
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■公益財団法人 堺市就労支援協会
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度		
11 会館受付件数	件	目標値	80	80	80	95		
		実績値	55	36				
		達成率	69%	45%				
当該指標を選定した理由		■数値化できる利用状況を見る指標として受付件数が適当であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		■従来の利用状況を元に設定。						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度			
12 貸室利用人数	人	目標値	930	930	930			
		実績値	670	540				
		達成率	72%	58%				
当該指標を選定した理由		■利用目的別の状況の整理もしているが、数値化できるものとして利用人数が成果の一つとして考えられるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		■従来の利用状況を元に設定。						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	舩松社会教育会館管理運営	事業番号	038-069
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)								
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
	決算	決算	決算	予算	予算要求					
事業費 (a)	3,307	3,236	4,041	3,257	3,556					
13 財源内訳	国支出金			195						
	府支出金									
	市債									
	その他 ()									
	受益者負担金(使用料、手数料等)	93	88	82	92	85				
	一般財源	3,214	3,148	3,764	3,165	3,471				
事業費の内訳		(単位：千円)								
14 事業費内訳	主な項目	年度	事業費	うち一般財源	主な項目	年度	事業費	うち一般財源		
	消耗品費	R4	予算	19	19	施設清掃等委託料 (清掃業務)	R4	予算	823	823
		R5	予算	47	47		R5	予算	867	867
	使用料(電気+水道+ガス)	R4	予算	707	649	施設警備等委託料 (機械警備)	R4	予算	238	238
		R5	予算	745	690		R5	予算	238	238
	修繕料及び工事請負費	R4	予算	5	5	その他の施設維持管理・運転等委託料 (防虫+樹木剪定)	R4	予算	65	65
		R5	予算	100	100		R5	予算	68	68
	手数料 (一般廃棄物処理)	R4	予算	65	65	各種検査・測定等委託料 (受水槽清掃業務)	R4	予算	44	44
		R5	予算	65	65		R5	予算	44	44
	施設保守点検等委託料 (EV+防災設備+自動ドア+建物等)	R4	予算	835	835	受付及び使用料徴収業務	R4	予算	456	422
		R5	予算	901	901		R5	予算	481	451
	債務負担行為		(単位：千円)							
15	期間	R ~ R		要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16 R4まで	適切な舩松社会教育会館の維持管理を行い、円滑な会議室・和室の貸室事業を運営する。
R5	適切な舩松社会教育会館の維持管理を行い、円滑な会議室・和室の貸室事業を運営する。
R6以降	適切な舩松社会教育会館の維持管理を行い、円滑な会議室・和室の貸室事業を運営する。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	円滑な貸室業務を行えるように、適切な維持管理を行なう。
------------	-----------------------------

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	青少年センター図書室運営	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	事業番号	038-070
	局	部	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	有	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有・無	無	取組の方向性	⑥生涯学習の推進		
	指標名	—						
	現状値	—	目標値	—				
1	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
		寄与するKPI	有・無	無	取組	生涯を通じた学びの支援		
	指標名	—						
	現状値	—	目標値	—				
2	関連計画	—						
3	事業開始年度	昭和 57 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 図書室の使用については、使用の許可、使用料等に関するものを除き、堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例及び堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例施行規則に準ずる。 ■ 図書室の運営については、堺市立図書館管理運営規則及び堺市立図書館各種要綱・基準等に準ずる。 						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	図書室の周辺地域の住民をはじめとする堺市民等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	図書情報サービスを提供することにより、青少年をはじめ、広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>「図書館情報ネットワークシステム」を利用して一体的・効率的な圖書の貸出・返却を行うとともに、これまでに知らなかった、関心のなかった本に目を向けてもらう工夫として、ブックフェア等を実施している。</p> <p style="text-align: center;">—</p>
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
11	人	目標値	21,000	22,500	22,500	22,500
		実績値	22,533	22,500		
		達成率	107%	100%		
当該指標を選定した理由		図書貸出が主要業務であるため、年間個人貸出者数に図書室の事業成果・活動実績が反映するから				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定				
12	回	目標値	1,900	2,000	2,100	
		実績値	2,060	2,100		
		達成率	108%	105%		
当該指標を選定した理由		利用者からのレファレンス・問合せへの対応内容として、利用者に対する本に関する情報の提供が含まれており、親切・丁寧な応対を職員が心がけることで、その件数の増加ひいては個人貸出者数の増加につながるから。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定				

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	青少年センター図書室運営	事業番号	038-070
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			決算	決算	決算	予算	予算要求		
		事業費 (a)	9,054	10,462	10,965	11,514	11,463		
		国支出金							
		府支出金							
		市債							
		その他 ()							
		受益者負担金(使用料、手数料等)							
		一般財源	9,054	10,462	10,965	11,514	11,463		
事業費の内訳		(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
		会計年度任用職員報酬	R4	予算 7,920	7,920	青少年センター施設維持管理費 等負担金	R4	予算 400	400
			R5	予算 7,930	7,930		R5	予算 380	380
		期末手当 (関係年度任用職員)	R4	予算 1,676	1,676		R4	予算	
			R5	予算 1,635	1,635		R5	予算	
		費用弁償	R4	予算 1,095	1,095		R4	予算	
			R5	予算 1,095	1,095		R5	予算	
		消耗品費	R4	予算 327	327		R4	予算	
			R5	予算 327	327		R5	予算	
		通信運搬費	R4	予算 96	96		R4	予算	
			R5	予算 96	96		R5	予算	
債務負担行為		(単位：千円)							
15	期間	R ~ R	要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R4まで 図書室の円滑な運営
	R5 図書室の円滑な運営
	R6以降 図書室の円滑な運営

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント 利用者に対し円滑に図書情報サービスを提供できるよう、青少年センター図書室を運営する。
----	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小学校施設開放事業	事業番号	038-071
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援
		部	地域教育振興

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~ 施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実				
		寄与するKPI	有・無	指標名	⑥生涯学習の推進				
	施策との関連	有・無	取組	現状値	目標値	—			
	寄与するKPI	有・無	指標名	現状値	目標値	—			
1	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに				
		寄与するKPI	有・無	取組	ターゲット	4.7			
	施策との関連	有・無	取組	生涯を通じた学びの支援					
	寄与するKPI	有・無	指標名	現状値	目標値	—			
2	関連計画	■ 第3期未来をつくる堺教育プラン、■ 子ども・子育て支援事業計画							
3	事業開始年度	昭和 45 年度			点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■ 社会教育法第44条 ■ スポーツ基本法第13条 ■ 堺市立学校の施設開放に関する規則 ■ 堺市立学校の施設開放に関する要綱							
事業の概要									
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	主に校区児童を対象とした団体（構成員が10人以上で、その過半数が開放学校の校区住民であること等の要件を満たすもの）で、スポーツ活動や文化活動を目的とするもの。（587団体/令和3年度実績）							
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校児童をはじめとする子どもの健全育成を図ること。 ■ 地域住民の健康維持と体力増進を図ること。 ■ 生涯学習の推進、地域コミュニティの活性化を図ること。 							
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校教育活動に支障のない範囲内で小学校施設の開放を行う。 ■ 事業の運営は校区の団体等から選出された方々で構成された学校施設開放運営委員会に委託している。 ■ 施錠の確認や利用団体の安全管理指導等のために、校長及び運営委員会から推薦を受けた管理指導員を配置している。 							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	小学校施設開放運営委員会							
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定											
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検年度				
	延べ利用人数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度					
			目標値	330,000	290,000	600,000	600,000				
			実績値	278,422	290,000						
達成率	84%		100%								
当該指標を選定した理由	利用人数は、小学校児童をはじめとする子どもの健全育成や、地域住民の健康維持と体力増進、生涯学習の推進、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする本事業の達成状況を図るための指標となるため。										
目標値の設定根拠・算出方法	令和7年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和3年度824,000人と令和7年度802,000人を対比し、令和2年度のコロナ禍の影響を除外した元の目標値（610,000人）から△2.7%の減少を見込む。 令和5年度の目標値は、令和2年度のコロナ禍の影響を除外した元の目標値（610,000人）から年間平										
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標						
	登録利用団体数	回	令和3年度	令和4年度	令和5年度						
			目標値	630	600	630					
			実績値	587	561						
達成率	93%		94%								
当該指標を選定した理由	登録利用団体数は、スポーツ活動を促進し、地域住民の健康維持と体力増進を図ることを目的とする本事業の活動状況を図るための指標となるため。										
目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績から設定。 ※令和4年度の実績値は、令和4年10月時点の暫定値。										

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	小学校施設開放事業	事業番号	038-071
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			決算		決算		決算		予算		予算要求		
		事業費 (a)	28,235		13,770		11,980		18,303		17,242		
		国支出金											
		府支出金											
		市債											
		その他 ()											
		受益者負担金(使用料、手数料等)											
		一般財源	28,235		13,770		11,980		18,303		17,242		
事業費の内訳										(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
			R4	予算				R4	予算				
				謝礼金	R4	予算	14,352	14,352	学校施設開放事業運営業務委託料	R4	予算	2,762	2,762
					R5	予算	13,248	13,248		R5	予算	2,762	2,762
				消耗品	R4	予算	126	126		R4	予算		
					R5	予算	126	126		R5	予算		
				印刷製本費	R4	予算	693	693		R4	予算		
					R5	予算	693	693		R5	予算		
				施設等修繕料	R4	予算	181	181		R4	予算		
					R5	予算	181	181		R5	予算		
		通信運搬費 (枠)	R4	予算	189	189		R4	予算				
			R5	予算	232	232		R5	予算				
債務負担行為										(単位：千円)			
15	期間		R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1"> <tr> <td>R4まで</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■会議室等校舎内施設の開放利用再開に向けて検討 ■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 </td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■会議室等校舎内施設の開放利用の一部施設の再開及び未再開施設の再開検討 ■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 ■学校群の在り方を踏まえた小学校施設開放事業のモデル実施 </td> </tr> <tr> <td>R6以降</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■会議室等校舎内施設の開放利用の全面再開に向けて検討 ■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 ■学校群の在り方を踏まえた小学校施設開放事業のモデル実施 </td> </tr> </table>	R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■会議室等校舎内施設の開放利用再開に向けて検討 ■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 	R5	<ul style="list-style-type: none"> ■会議室等校舎内施設の開放利用の一部施設の再開及び未再開施設の再開検討 ■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 ■学校群の在り方を踏まえた小学校施設開放事業のモデル実施 	R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■会議室等校舎内施設の開放利用の全面再開に向けて検討 ■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 ■学校群の在り方を踏まえた小学校施設開放事業のモデル実施
R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■会議室等校舎内施設の開放利用再開に向けて検討 ■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 						
R5	<ul style="list-style-type: none"> ■会議室等校舎内施設の開放利用の一部施設の再開及び未再開施設の再開検討 ■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 ■学校群の在り方を踏まえた小学校施設開放事業のモデル実施 						
R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■会議室等校舎内施設の開放利用の全面再開に向けて検討 ■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 ■学校群の在り方を踏まえた小学校施設開放事業のモデル実施 						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策に取り組みつつ、学校施設開放の利用を促進（運動場、体育館、会議室等校舎内施設）</p>
----	--

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他			
		事務事業分類	A 一般事務事業			
事務事業名	中学校施設開放事業		事業番号	038-072		
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有・無	取組の方向性	⑥生涯学習の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
		寄与するKPI	有・無	取組	生涯を通じた学びの支援		
2 関連計画		第3期未来をつくる堺教育プラン					
3 事業開始年度		昭和 40 年度		点検年度		令和 7 年度	
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		■ 社会教育法第44条 スポーツ基本法第13条 ■ 堺市立学校の施設開放に関する規則 ■ 堺市立学校の施設開放に関する要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	構成員が10人以上で、その過半数が開放中学校の校区住民であること等の要件を満たした団体で、スポーツ活動を目的とするもの。(476団体/令和3年度実績)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	スポーツ活動を通して、地域住民の健康維持と体力増進及び地域コミュニティの活性化を図ること。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■ 学校教育活動に支障のない範囲内で、中学校体育施設(体育館・運動場)の開放を行う。 ■ 夜間照明施設が設置された中学校(43校中27校)においては、運動場の夜間開放を実施している。 ■ 事業の運営は、校区の団体等から選出された方々で構成された学校施設開放運営委員会に委託している。 ■ スポーツ活動その他の生涯学習を主な目的とする団体を対象とした事業であり、地域の実情に応じた運営を行っている。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	中学校施設開放運営委員会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11 延べ利用人数	人	目標値	87,000	59,000	163,600	162,000	
		実績値	57,282	59,000			
		達成率	66%	100%			
		当該指標を選定した理由	令和7年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和2年度824,000人と令和7年度802,000人を対比し、令和2年度のコロナ禍の影響を除外した元の目標値(166,000人)から△2.7%の減少を見込む。令和5年度の目標値は、令和2年度のコロナ禍の影響を除外した元の目標値(166,000人)から年間平均減少分(800人)の3年間分を見込み163,600人となることから算出。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定。					
12 登録利用団体数	団体	目標値	530	490	530		
		実績値	476	491			
		達成率	90%	100%			
		当該指標を選定した理由	登録利用団体数は、スポーツ活動を促進し、地域住民の健康維持と体力増進を図ることを目的とする本事業の活動状況を図るための指標となるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定。					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	中学校施設開放事業	事業番号	038-072
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

(単位：千円)											
事業コスト											
	項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		決算		決算		決算		予算		予算要求	
	事業費 (a)	2,881		1,976		6,068		7,257		7,690	
13	財 源 内 訳	国支出金									
		府支出金									
		市債									
		その他 ()									
		受益者負担金(使用料、手数料等)							1,809		
		一般財源	2,881		1,976		6,068		5,448		7,690
(単位：千円)											
事業費の内訳											
	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	
		R4	予算				R4	予算			
14	電気使用料	R4	予算	310	0	出島市民運動場樹木剪定業務 委託料	R4	予算	248	248	
		R5	予算	310	310		R5	予算	252	252	
	施設等修繕料	R4	予算	4,932	3,433	中学校施設開放事業運営業務 委託料	R4	予算	1,383	1,383	
		R5	予算	5,582	5,582		R5	予算	1,383	1,383	
	水道使用料	R4	予算	24	24	謝礼金	R4	予算	62	62	
		R5	予算	24	24		R5	予算	0	0	
	印刷製本費	R4	予算	50	50	普通旅費	R4	予算	10	10	
		R5	予算	50	50		R5	予算	10	10	
	通信運搬費	R4	予算	79	79	夜間照明設備利用確認業務委 託料	R4	予算	159	159	
		R5	予算	79	79		R5	予算	0	0	
	(単位：千円)										
	債務負担行為										
15	期間	R ~ R				要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R4まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夜間照明施設の老朽化対策として修繕及び建替の検討の継続実施 ■ 職員による夜間照明施設の定期点検の継続実施 ■ 夜間照明施設の利用に係る電気代相当額の徴収の検討
R5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夜間照明施設の老朽化対策として修繕及び建替の検討の継続実施 ■ 職員による夜間照明施設の定期点検の継続実施 ■ 学校群の在り方を踏まえた中学校施設開放事業のモデル実施 ■ 学校施設開放事業における受益者負担の継続検討
R6以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夜間照明施設の老朽化対策として修繕及び建替の検討の継続実施 ■ 夜間照明施設のあり方の検討 ■ 学校群の在り方を踏まえた中学校施設開放事業のモデル実施 ■ 学校施設開放事業における受益者負担の継続検討

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染防止対策に取り組みつつ、学校施設開放の利用を促進 (運動場、体育館) ■ 学校施設開放事業における受益者負担の継続検討
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	地域学校協働活動推進事業			事業番号	038-073
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
		寄与するKPI	有	取組	生涯を通じた学びの支援		

2	関連計画	■ 第3期末未来をつくる堺教育プラン ■ 堺市子ども・子育て支援事業計画 ■ 堺市生涯学習支援計画		
3	事業開始年度	平成 19 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■ 教育基本法第10条、第13条 ■ 社会教育法第3条第3項、第5条第7号		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	教育委員会事務局
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進するため、学びによるまちづくりや地域人材の育成を通じて、社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域学校協働活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の理解促進に関する啓発の実施 ・地域学校協働活動を担う、堺版コミュニティ・スクールのコーディネーターや教職員を対象とした講座の開催や人材育成の実施 ・「企業による学びの応援プログラム」(教育CSR推進事業)と連携した地域学校協働活動の実施支援 ■ 家庭教育支援に関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の学びを支援する学習会に対する講師紹介及び学習テーマについての情報提供等の支援
9	主な支出先 (委託、補助金・負担金等)	講師謝礼金 (地域コーディネーター育成講座等)
10	公民連携・協働事業	学校園や地域での自主的な学習機会の支援については、教育CSR推進事業「企業による学びの応援プログラム」と連携し、は企業・NPO法人・各種団体等が実施する地域貢献活動を活用するプログラムを提供している。

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標			
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
11 地域コーディネーター養成研修への年間延べ参加人数	人	目標値	35	110	115	120	
		実績値	101	90			
		達成率	289%	82%			
当該指標を選定した理由		地域の実情や特性に応じた地域学校協働活動の活性化には「地域コーディネーター」の存在が不可欠であり、その資質向上を行うことが、地域の活性化や学校支援活動、家庭教育支援の推進につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		目標値：5人×各区					
12 企業による学びの応援プログラム参加者数	人	実績	令和3年度	実績見込み	令和4年度	目標	令和5年度
		目標値	3,000	8,000	8,500		
		実績値	6,111	10,000			
達成率	204%	125%					
当該指標を選定した理由		教育CSR推進事業「企業による学びの応援プログラム」の活用は、学校園における教育活動の支援や地域における地域学校協働活動の活性化を定量的に評価できると考えられるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定。					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	地域学校協働活動推進事業	事業番号	038-073
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)									
13	財 源 内 訳	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
			決算	決算	決算	予算	予算要求				
		事業費 (a)	154	48	460	434	397				
		国支出金	0		0	0	0				
		府支出金	0		0	0	0				
		市債	0		0	0	0				
		その他 ()	0		0	0	0				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0	0	0				
		一般財源	154	48	460	434	397				
事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R4	予算	203	203		R4	予算		
		謝礼金	R5	予算	209	209		R5	予算		
		旅費	R4	予算	98	98		R4	予算		
			R5	予算	56	56		R5	予算		
		需用費(消耗品費等)	R4	予算	81	81		R4	予算		
			R5	予算	80	80		R5	予算		
		保険料	R4	予算	6	6		R4	予算		
			R5	予算	6	6		R5	予算		
		その他使用料及び賃借料	R4	予算	46	46		R4	予算		
			R5	予算	46	46		R5	予算		
債務負担行為		(単位：千円)									
15	期間	R ~ R				要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	<p>R4まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学校園における家庭教育支援の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、出前講座の実施など、PTA、こども会等をはじめとした地域住民による自主的な学習活動への支援を実施した。 ■ 関西大学との地域連携事業として、未就学児の保護者を対象とした写真セミナー及び写真展を実施した。（令和2～4年度） ■ 市民人権局（生涯学習課）と連携し、学校教職員や地域コーディネーターを対象とした「地域コーディネーター育成講座」を開催した。（令和3年度～） ■ 子ども青少年局（子ども育成課）と連携し、青少年指導員を対象とした地域と学校の連携に関する講座を実施した。（北区・南区）※令和3年度 <p>R5</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学校園における家庭教育支援の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、出前講座の実施など、PTA、こども会等をはじめとした地域住民による自主的な学習活動への支援を行う。 ■ 学校教職員や地域コーディネーターを対象とした「地域コーディネーター育成講座」を開催予定。 ■ 学校指導課と連携し、地域学校協働活動を推進する体制（地域学校協働本部・地域学校協働活動推進員）を構築する。 <p>R6以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学校園における家庭教育支援の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、出前講座の実施など、PTA、こども会等をはじめとした地域住民による自主的な学習活動への支援を行う。 ■ 法に定めるコミュニティ・スクールの実施に向けた地域学校協働活動の連携・協働体制を推進する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域学校協働活動の推進のため、学校教職員やコーディネーター（堺版コミュニティ・スクール）を対象とした、資質向上を目的としたための講座を開催する。 ■ 学校園における家庭教育支援の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」を活用し、出前講座の実施など、PTA、こども会等をはじめとした地域住民による自主的な学習活動や学校教育活動などの地域学校協働活動全般に対する支援を行う。
----	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	社会教育関係団体支援事業			事業番号	038-075
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進		
	有・無	指標名	—			
	無	現状値	—		目標値	—
堺市SDGs 未来都市計画	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.7
	有	取組	生涯を通じた学びの支援			
	有・無	指標名	—			
	無	現状値	—		目標値	—
2	関連計画	第3期未来をつくる堺教育プラン、堺市子ども・子育て支援事業計画				
3	事業開始年度	昭和 24 年度		点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会教育法第10条、第11条及び第12条、堺市 P T A 教育振興事業補助金交付要綱、堺市子ども会育成協議会運営事業補助金交付要綱、堺市女性活躍振興事業補助金交付要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市PTA協議会、堺市子ども会育成協議会、堺市女性団体協議会 (3団体/令和4年度実績)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> 【PTA】各学校園PTA相互の連携に努め、PTA会員に対して学習の機会や情報を提供することにより、会員の資質向上及び家庭の教育力の向上を図るとともに、PTA活動の活性化のための支援及び指導・育成を図る。 【こども会】堺市ブロック子ども会育成団体及び堺市小学校区子ども会育成団体との緊密な連携のもとに、堺市子ども会育成協議会の主体的な活動の支援及び指導等を図る。 【女性活躍】女性がその個性と能力を十分に発揮し活躍できる環境の醸成を図る。 				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> 【PTA】堺市PTA協議会・校園種別等PTA協議会における研修会の開催を支援するとともに、広く泉北・堺市地区PTA協議会・大阪府PTA協議会・近畿ブロックPTA協議会・日本PTA全国協議会の情報提供を支援し、会員の資質向上を図る。 【こども会】以下の堺市子ども会育成協議会の活動に対する支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・文化活動、交流事業等の異年齢間交流を通して、子どもたちがルールを守ること、お互いを思いやること等の社会規範を学ぶ。 ・ブロック別指導者研修会等により指導者・育成者としての資質向上及び意識啓発を図る。 ・ホームページの活用により、こども会の魅力を発信する。 【女性活躍】堺市内において、女性活躍の振興に資する事業を主体的かつ積極的に担う社会教育関係団体を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・固定的な性別役割分担意識の解消等ジェンダーへの啓発 ・DV、児童虐待防止対策 ・グローバルな観点から女性の人権問題の解決 				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市 P T A 協議会、堺市子ども会育成協議会 他				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
【こども会】 堺市子ども会育成協議会加入者数(6月末)	人	目標値	16,000	14,000	18,700	18,500		
		実績値	13,563	11,661				
		達成率	85%	83%				
		当該指標を選定した理由	学校・家庭・地域の連携を図り、本市がめざす「横にひろがる教育」を推進することに対して、大きく寄与しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法	令和7年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和2年度824,000人と令和7年度802,000人を対比し、令和2年度の目標値(19,000人)から△2.7%の減少を見込む。 令和5年度の目標値は、令和2年度のコロナ禍の影響を除外した元の目標値(19,000人)から年間平均減少分(100人)の3年間分を見込み18,700人となることから算出。 ※令和4年度の実績値は、令和4年6月時点の暫定値。							
活動指標(成果を上げるための手段)	回	目標値	9	11	11			
		実績値	11	6				
		達成率	122%	55%				
		当該指標を選定した理由	イベントの開催数は、本協議会活動の活性化の指標であり、魅力あるイベントの開催は加入への動機づけにつながるものであるため。 ※令和4年度の実績値は、年度未までに開催予定のイベント数。					
目標値の設定根拠・算出方法	前年度及び前々年度の目標値から設定。							

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	社会教育関係団体支援事業	事業番号	038-075
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト (単位: 千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	8,754	4,510	6,976	8,488	8,505
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	8,754	4,510	6,976	8,488	8,505

事業費の内訳 (単位: 千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R4	予算				R4	予算		
		会計年度任用職員報酬	R4	予算	1,920	1,920	その他使用料及び賃借料	R4	予算	4	4
			R5	予算	1,959	1,959		R5	予算	0	0
		期末手当 (会計年度任用職員)	R4	予算	399	399	研修会等参加負担金	R4	予算	47	47
			R5	予算	383	383		R5	予算	47	47
		費用弁償 (通勤費)	R4	予算	156	156	P T A 教育振興事業補助金	R4	予算	1,400	1,400
			R5	予算	156	156		R5	予算	1,400	1,400
		普通旅費	R4	予算	65	65	こども会育成協議会運営事業補助金	R4	予算	2,891	2,891
			R5	予算	65	65		R5	予算	2,891	2,891
		有料道路通行料	R4	予算	6	6	女性活躍振興事業補助金	R4	予算	1,600	1,600
			R5	予算	4	4		R5	予算	1,600	1,600

債務負担行為 (単位: 千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R4まで	より主体的な活動を行う社会教育関係団体としての意識改革や、より自立した活動促進に向けた支援。
	R5	社会教育関係団体による諸活動が会員のニーズや時代に沿った活動になるよう支援。
	R6以降	継続して、社会教育関係団体による諸活動が会員のニーズや時代に沿った活動になるよう支援。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	社会教育関係団体による諸活動が会員のニーズや時代に沿った活動になるよう支援。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	美原こども館管理 美原こども館健全育成		事業番号	038-078
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部
			美原こども館	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③健やかな心身の育成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
		取組	生涯を通じた学びの支援				
		指標名	—				
		現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン				
3	事業開始年度	昭和 56 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市立美原こども館条例				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	子ども (小学校に就学する児童及び小学校就学前の子どものこと。以下同じ。) 及びその保護者
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	子どもの体力の増進及び情操のかん養を図り、その健全な育成に資すること。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>子どもに対して健全な遊びの場を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美原区内に4館を設置 (各館には再任用職員等1名、会計年度職員1名を配置) ・主催事業として、児童文化教室 (硬筆、茶道等) や各種行事 (あそびの会等) を実施 ・地域のクラブ、サークル (大人) の活動の場も提供 (子どもの活動を妨げない範囲)
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	施設修繕施工業者
10	公民連携・協働事業	校区福祉委員会との協働事業として毎年各館3回ずつ世代間交流事業を実施

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度		
11 利用者数	人	目標値	20,000	20,000	25,000	25,000		
		実績値	20,272	20,000				
		達成率	101%	100%				
当該指標を選定した理由		当該数値がこども館の事業成果や実績全体を最も可視化できるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		各事業参加者数の総計						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度			
12 児童文化教室の開催数	回	目標値	150	150	165			
		実績値	165	165				
		達成率	110%	110%				
当該指標を選定した理由		こども館の主たる事業のひとつであるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		各教室開催数の総計						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	美原こども館管理 美原こども館健全育成	事業番号	038-078
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			決算	決算	決算	予算	予算要求		
		事業費 (a)	67,256	35,475	37,568	39,860	37,209		
		国支出金							
		府支出金							
		市債							
		その他 ()							
		受益者負担金(使用料、手数料等)							
		一般財源	67,256	35,475	37,568	39,860	37,209		
事業費の内訳		(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
			R4 予算				R4 予算		
		会計年度職員報酬	R4 予算	20,868	20,868	施設機械警備委託料	R4 予算	462	462
			R5 予算	18,855	18,855		R5 予算	462	462
		期末手当 (会計年度職員)	R4 予算	3,960	3,960	講師謝礼金	R4 予算	1,440	1,440
			R5 予算	3,670	3,670		R5 予算	1,440	1,440
		費用弁償	R4 予算	1,876	1,876	ひらお周辺水路清掃業務	R4 予算	979	979
			R5 予算	1,718	1,718		R5 予算	990	990
		施設修繕料	R4 予算	2,500	2,500	その他 (消耗品等)	R4 予算	5,302	5,302
			R5 予算	3,500	3,500		R5 予算	4,997	4,997
		施設清掃業務委託料	R4 予算	2,473	2,473		R4 予算		
			R5 予算	1,577	1,577		R5 予算		
債務負担行為		(単位：千円)							
15	期間	R ~ R	要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで R5 R6以降	各こども館において、あそびの会や児童文化教室などの主催事業の実施及び施設の維持管理業務の実施。 継続実施 継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	美原こども館では、地域のこども達が自由に安全で安心して遊べる場として、遊びやスポーツを通じた仲間づくりや世代間交流事業等を実施し地域住民との交流も図っている。なかでも児童文化教室 (茶道、硬筆、書道) やあそびの会の実施は子どもの健全育成のために継続して実施することが必要であるので、講師謝礼金等の確保が必要。また、施設を安全、快適に利用してもらうための施設維持管理費用も必要な予算である。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	放課後子ども総合プラン事業	
担当部署名	教育委員会事務 局	地域教育支援 部
	事業番号	038-079
	放課後子ども支援	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	有	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有・無	有	指標名	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援 放課後児童対策等事業にかかる待機児童数		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	無	ゴール	—	目標値	0人(2025年度)
		寄与するKPI	有・無	無	指標名	—	ターゲット	—
2 関連計画		堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3 事業開始年度		平成 23 年度		点検年度		令和 7 年度		
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		児童福祉法、堺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、放課後子ども総合プラン事業実施要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	<ul style="list-style-type: none"> ■ のびのびルーム：小学校1年生から6年生までの就労家庭児童1,430名（令和4年5月1日現在） ■ すくすく教室：小学校1年生から6年生までの利用を希望する全ての児童1,928名（令和4年5月1日現在）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	本事業を実施していくことで、待機児童の解消等の課題解決や保護者ニーズへの対応に向けた新たな放課後施策を構築し、子育て支援の充実・強化を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実施校数：21校（令和4年4月時点） ■ のびのびルーム（厚生労働省所管の「放課後児童クラブ」） <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設時間：月曜日～金曜日（放課後～午後6時30分）、土曜日・長期休業中（午前8時～午後6時30分）（利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長） ・ 負担金：月額8,000円、（利用時間延長制度利用者は、時間延長一部負担金として、別途月額1,000円）（ともに減免制度あり） ■ すくすく教室（文部科学省所管の「放課後子供教室」） <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設時間：月曜日～金曜日（放課後～午後5時）、土曜日・長期休業中（午前9時～午後5時） ・ 負担金：月額4,000円（8月のみ6,000円）（減免制度あり）
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	(株)セリオ、(株)CLC、(株)トライグループ、(特非)ピュア・ハート御池
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
11	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	
			実績値	0	0	0	0	
			達成率	100%	100%	100%	100%	
	当該指標を選定した理由		待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各年度の待機児童数。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	校	目標値	0	0	0	0	
			実績値	0	0	0	0	
			達成率	100%	100%	100%	100%	
	当該指標を選定した理由		活動場所確保の成果である定員が、各校における利用児童数を上回ることが必要なため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各校における利用児童数が、活動場所確保の成果である定員を超過した校数。						

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	放課後子ども総合プラン事業	事業番号	038-079
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	551,788	600,258	638,689	865,491	866,061
		国支出金	113,335	162,470	117,756	172,159	151,856
		府支出金	74,594	91,696	79,900	103,310	103,642
		市債	0	0	0	0	0
		その他 ()	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	188,662	142,224	182,566	232,199	171,149
		一般財源	175,197	203,868	258,467	357,823	439,414

事業費の内訳 (単位：千円)

14	事業 費 内 訳	主な項目		年度	事業費	うち 一般財源	主な項目		年度	事業費	うち 一般財源
		放課後子ども総合プラン事業運 営・処遇改善業務	R4	予算	860,896	354,248	手数料	R4	予算	363	243
			R5	予算	861,572	435,945		R5	予算	363	243
		消耗品費	R4	予算	1,761	1,301	印刷製本費	R4	予算	240	240
			R5	予算	1,761	1,301		R5	予算	257	257
		その他備品購入費	R4	予算	675	451	施設等修繕料	R4	予算	170	170
			R5	予算	675	451		R5	予算	170	170
		小学校冷暖房機及び空調設 備保守点検業務	R4	予算	653	437		R4	予算		
			R5	予算	653	437		R5	予算		
		通信運搬費	R4	予算	610	610		R4	予算		
			R5	予算	610	610		R5	予算		

債務負担行為 (単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開						
16	<table border="1"> <tr> <td>R4まで</td> <td rowspan="2">21校で実施</td> </tr> <tr> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>R6以降</td> <td>21校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)</td> </tr> </table>	R4まで	21校で実施	R5	R6以降	21校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)
R4まで	21校で実施					
R5						
R6以降	21校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)					

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <p>利用予測に基づく全ての組織分の運営費を確保</p>
----	---

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	放課後児童対策事業 (のびのびルーム)		事業番号	038-081
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部
			放課後子ども支援	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	放課後児童対策等事業にかかる待機児童数		
		寄与するKPI	有	現状値	2人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)

2	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン				
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	児童福祉法、堺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、堺市放課後児童対策事業実施要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	当該小学校に在籍または校区に在住の小学校 1 年生から 6 年生までの就労家庭等児童6,987名 (令和4年5月1日現在)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	本事業は、小学校に就学している留守家庭児童等の放課後における健全な育成、また児童が安全に過ごすことのできる環境を実現し、保護者が安心して就労できるようにすることで、子育てを支援することを目的に実施している。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■実施校数：71校 (令和4年4月時点) ■開設時間：月曜日～金曜日(放課後～午後6時30分)、土曜日・長期休業中 (夏季休業中含む) (午前8時～午後6時30分) (利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長) ■負担金：月額8,000円 (利用時間延長制度利用者は、時間延長一部負担金として、別途月額1,000円) (ともに減免制度あり)
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■ (公財) 堺市教育スポーツ振興事業団、(株) CLC、(株) 明日葉
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11 待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	
		実績値	0				
		達成率	100%				
当該指標を選定した理由		待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各年度の待機児童数。					
12 活動指標(成果を上げるための手段)	校	実績	令和3年度	実績見込み	令和4年度	目標	令和5年度
		目標値	0	0	0		
		実績値	0	0			
当該指標を選定した理由		活動場所確保の成果である定員が、各校における利用児童数を上回ることが必要なため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各校における利用児童数が、活動場所確保の成果である定員を超過した校数。					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	放課後児童対策事業 (のびのびルーム)	事業番号	038-081
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			決算	決算	決算	予算	予算要求		
		事業費 (a)	1,245,083	1,712,238	1,537,629	1,787,405	2,485,377		
		国支出金	278,395	564,812	365,600	398,542	486,049		
		府支出金	240,681	469,991	346,544	398,542	486,049		
		市債	0	0	0	0	0		
		その他 ()	0	0	0	0	0		
		受益者負担金(使用料、手数料等)	517,837	388,692	510,335	640,672	515,665		
		一般財源	208,170	288,743	315,150	349,649	997,614		
事業費の内訳		(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
		放課後児童対策事業 (のびのびルーム) 管理運営・処遇改善業務	R4	予算 1,772,909	340,881	その他備品購入費	R4	予算 1,425	475
	R5		予算 2,470,728	988,771	R5		予算 1,425	475	
		消耗品費	R4	予算 3,760	1,614	その他使用料及び賃借料	R4	予算 660	320
	R5		予算 3,760	1,614	R5		予算 799	381	
		手数料	R4	予算 2,576	1,754	施設等修繕料	R4	予算 670	670
	R5		予算 2,576	1,754	R5		予算 670	670	
		通信運搬費	R4	予算 2,483	2,483	印刷製本費	R4	予算 715	715
	R5		予算 2,483	2,483	R5		予算 729	729	
		小学校冷暖房機及び空調設備 保守点検業務	R4	予算 2,207	737		R4	予算	
	R5		予算 2,207	737		R5	予算		
債務負担行為		(単位：千円)							
15	期間	R ~ R		要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R4まで 71校で実施
	R5 71校で実施
	R6以降 71校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	利用予測に基づく全ての組織分の運営費を確保
----	---------	-----------------------

令和5年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	放課後ルーム事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	事業番号	038-084
	局	部	課

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実			
		有	有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援					
	寄与するKPI	有・無	指標名	放課後児童対策等事業にかかる待機児童数						
		有	現状値	2人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)				
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—						
	有	取組	—							
	寄与するKPI	有・無	指標名	—						
		有	現状値	—	目標値	—				
2	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン								
3	事業開始年度	平成 17 年度			点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市放課後ルーム事業実施要綱								
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市								
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	開設小学校区に在住している4年生から6年生の児童199名 (令和4年5月1日現在)								
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	放課後ルーム事業は4年生から6年生の高学年児童を対象に、放課後等に学校の図書室、多目的室等を活用し、学習アドバイザーや指導員とともに宿題などの自主学習を継続的に行うことで児童の学習の習慣づけを図る。また、様々な体験プログラムの実施により、児童の意欲や関心の向上をめざしている。								
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>■実施校数：6校 (令和4年4月時点)</p> <p>■開設時間：月曜日～金曜日 放課後から午後6時まで。 土曜日・長期休業期間午前9時～午後6時まで。夏季休業中は午前8時30分～午後6時 (利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長)</p> <p>■負担金4,000円 (8月のみ6,000円)、減免制度なし</p>								
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	(株) 明日葉、新湊小学校放課後ルーム運営委員会								
10	公民連携・協働事業	—								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0
			実績値	0			
			達成率	100%			
当該指標を選定した理由		待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各年度の待機児童数。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	定員超過の校数	校	目標値	0	0	0	
			実績値	0	0		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		活動場所確保の成果である定員が、各校における利用児童数を上回ることが必要のため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各校における利用児童数が、活動場所確保の成果である定員を超過した校数。					

令和5年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	放課後ルーム事業	事業番号	038-084
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	122,137	103,318	76,939	102,845	65,530
		国支出金	15,270	16,038	9,637	14,704	9,563
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他 ()	0	0		0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	21,787	11,918	12,095	15,822	7,576
		一般財源	85,080	75,362	55,207	72,319	48,391

事業費の内訳 (単位：千円)

14	事業 費 内 訳	主な項目		年度	事業費	うち 一般財源	主な項目		年度	事業費	うち 一般財源
		放課後ルーム事業運営業務	R4	予算	101,724	71,198	印刷製本費	R4	予算	62	62
			R5	予算	64,955	47,816		R5	予算	55	55
		通信運搬費	R4	予算	350	350		R4	予算		
			R5	予算	350	350		R5	予算		
		施設・物品等修繕料	R4	予算	244	244		R4	予算		
			R5	予算	44	44		R5	予算		
		手数料	R4	予算	218	218		R4	予算		
			R5	予算	73	73		R5	予算		
		消耗品費	R4	予算	124	124		R4	予算		
			R5	予算	53	53		R5	予算		

債務負担行為 (単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開						
16	<table border="1"> <tr> <td>R4まで</td> <td>6校で実施</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td rowspan="2">4校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)</td> </tr> <tr> <td>R6以降</td> </tr> </table>	R4まで	6校で実施	R5	4校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)	R6以降
R4まで	6校で実施					
R5	4校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)					
R6以降						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<table border="1"> <tr> <td>要求のポイント</td> <td>利用予測に基づく全ての組織分の運営費を確保</td> </tr> </table>	要求のポイント	利用予測に基づく全ての組織分の運営費を確保
要求のポイント	利用予測に基づく全ての組織分の運営費を確保		